

第二十二回帝國議會
衆議院

國債整理基金特別會計法案外一件委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治三十九年二月七日午後一時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

長谷場 純孝君

改野

耕三君

渡邊

修君

多田 作兵衛君

菅原

傳君

齋藤

桂次君

松本孫右衛門君

上埜

安太郎君

鈴木

藤三郎君

北村 左吉君

漆

昌巖君

宮崎

榮治君

竹田 千代足君

藤澤

幾之輔君

角田

眞平君

守屋 此助君

西村

眞太郎君

合田

福太郎君

尾形 兵太郎君

藻寄

鉄五郎君

望月

長夫君

高梨 哲四郎君

岡田

治衛武君

鈴木

惣兵衛君

濱田 國松君

横田

虎彦君

荒川

五郎君

國谷 亨君

島田

三郎君

淺野

陽吉君

波多野傳三郎君

鵜飼

退藏君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣法學博士 阪谷 芳郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君

大藏省理財局長 水町袈婆六君

大藏省主稅局長 櫻井鐵太郎君

大藏省主計局長 荒井賢太郎君

大藏書記官 菅原 通敬君

大藏書記官 市來 乙彦君

大藏書記官 勝田 主計君

大藏書記官 山崎四男六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國債整理基金特別會計法案(政府提出)

非常特別稅法中改正法律案(政府提出)

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ國債整理基金特別會計法案外一件ノ委員會ヲ開キマス

○望月長夫君 私ハ大藏大臣ニ一ツノ質問ヲ致シタイ、第一ハ過日來各種ノ委員

會ニ於テチギレノニ非常特別稅ニ關係ノアル稅目ノ内デ、今期議會ニ其改正案ヲ出

スコトニナツテ居ルト云フコトヲ述ベラレタ、例ヘバ市街宅地租ノ如キ、或ハ關稅、或ハ醬

油ナド、云フモノガ、チギレノノ内ニアッタヤウデゴザイマス、ソレデ第一ニ御尋フ致シマス

ノハ、非常特別會計ニ關係ノアル稅目ノ内デ、今期議會ニ其改正案ヲ提出サル、コト

ニ定ツテ居リマス、稅目ハ、何々デアルカ、是ガ若シモデス、吾々ノ考ヘテ居ル不都合ナ稅

ト思フモノヲ多ク改正サル、ナラバ、或ハ本案ニ同意シテモ宜イコトニナルカモ、知レヌケレ

ドモ、改正セヌケレハナラヌ稅目ガ多クナルト云フコトデハ、勢ヒ本案ニ反對セヌケレハナ

ラヌト云フコトニナル、ソレ故ニ此點ニ關スル責任アル大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレ

カラ第二ニ御尋致シマスノハ、過日大藏大臣カラ波多野君ニ御答ニナツタ内ニ、此非常

特別稅ニ關係アル稅目ノ改正ニ付イテハ、適當ナル期間ヲ設ケテ調査ヲスルト云フヤウ

ナ言葉モアリ、又其期間ニ付イテモ調査會ノ調査ノ結了ノ期間ノ長短ニ依ツテ云々ト云

フ御言葉モアリ、ソレデ私ノ御尋フシマスノハ、大藏省ニ於テハ果シテモゴザイマス、此稅

目ノ改正ヲスルニ付イテノ調査會ヲ組織スル豫定ニナツテ居ルノデアルカ、ドウカ若シ果シ
テ左様ナモノヲ組織ナサルト云フコトデアレハ、其組織ニ付イテ例ヘバ何省ノ如何ナル人
ヲ以テ組織シタ調査會ヲ設ケルトカ、何トカ云フコトニ付イテノ大藏大臣トシテノ腹案ガ
伺ヒタイ、是ハ矢張本案ヲ決定致シマス上ニ付イテ、其調査會ナルモノガ果シテ望ヲ屬ス
ルコトガ出來ル組立ニナルカドウカ、或ハ此調査會ナルモノ、組立ニ依ツテハ、獨リ改正
ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノミナラズ、却ツテ多クノ不都合ヲ生ズル基トナルカモ分ラ
ナイ、此善惡ト云フコトハ、又本案ヲ決スル上ニ付イテ重要ナル關係ヲ持ツト思ヒマスカラ、
即チ調査會ヲ組織スル腹案アリヤ否ヤ、若シ左様ナ腹案ガアリト致シマスレバ、其組織
ニ付イテ、今日大藏大臣ノ責任ヲ以テ、當會デ述ヘ得ラレダケノ詳細ナル御腹案ヲ伺ヒ
タイ、例ヘバ其組織スル人、或ハ之ニ依ツテ調査サセル問題、或ハ其期限、斯様ナコトニ
付イテノ大藏大臣ノ御腹案ヲ伺ヒタイト思フ、此二ツノ御答辯ヲ願ヒタイ

○大藏大臣法學博士 阪谷 芳郎君 此非常特別稅法ノ内デ、修正ノ目的ヲ以テ、今
調査ヲ致シマシテ、略シ其調査モ出來テ居リマシテ、今議會ニ提出スルト云フコトヲ内定致
シテ居リマス、宅地地價修正、是ハ前期議會デ確カ衆議院カラ御建議ニナツテ居
リマス、案デゴザイマス、ソレカラ醬油稅則ノ内デハ、鹽ノ專賣ト關聯シマスガ、鹽ノ
交付金ノ方ヲ廢シテ、サウシテ其醬油稅ノ方ヲ下ゲル、即チ今ハ醬油ノ方ヘ賣リマス
鹽ノ拂戻ヲシテ居ル、ソレヲ醬油屋ノ方デ、大變ニ此稅ノ拂戻ヲ受ケタ鹽ト、其他ノ鹽
トノ區分ガムツカシイノデ、寧ロ鹽ハ矢張專賣ノ直段デ賣ッテ貰ウテ、造石稅ノ方デ引イ
テ貰フ方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ希望モアリマシテ、是モ出シタイト考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ關稅定率法ト、關係ノ各省ト交渉中ニナツテ居リマス、成ルベク是ハ大キナ法案
デスカラ、早く出シタイト思ウデ急キデ居リマス、多分是モ不日纏マラス積デ、是非是ハ
本期議會中ニ出シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ取引所ノ公債證書ノ取引ニ課シマス
稅——是ハ稅法ノ方ノ關係カラデハ寧ロナイノデスガ、詰リ公債ノ取引ガ是ノ如クニ我
國デハ公債ガ殖エテ、却ツテ外國ノ市場デハ盛ニ取引セラレテ居ルニモ拘ハラズ、本元ノ
日本ノ取引所ニ係ル公債ト云フモノハ少ナイノデ、甚ダ公債ノ取引ニ不便ヲ感ジテ居ル
ノデ、現在公債ノ取引ノ稅ハ殆ド收入スルモノガナイ位デアリマスカラ、寧ロ此不便ヲ除
イタナラバ多少此公債ノ取引ノ發達ヲ望ムコトガ出來ハシナイカト云フ考デ、是モ簡單ナ
法律デ、提出致シタイ考デ、是ニ付イテハ少シ公債條例ノ方ノ修正モシタイト云フ考
デ、併セテ調査致シテ居リマス、以上述べマシタノガ今日ニ於キマシテ、本期議會ニ提
出致シタイト云フ考デ、内定致シテ居リマス、其他ニハ調中ノモノガゴザイマスガ、未ダ
調査ヲ終シテ居リマセズ、提出ヲ内定スルマデニ、調査ガ終シテ居ラヌデアリマス、ソレカ

ラ調査會ノ組織ノコトハ、是ハ大體ニ於キマシテ、税法全部ニ涉ッテ、十分利害得失ヲ研究致スノデゴザイマス、之ヲ目的ト致シテ居ルノデゴザイマスガ故ニ、廣ク智識經驗アル人ヲ集メタイト考ヘマス、貴衆兩院議員、ソレカラ官吏モ之ニ加ハリマシテ——未ダ能ク具體的ニ御話スルコトハ出來マセヌガ、略サウ云フ少シ廣イ調査ノ委員會ニ致シタイト云フ考デアリマス

○淺野陽吉君 私ハ四點御尋ヲシタイト思フ、第一ニ御尋ヲシタイトハ、唯今ノ大藏大臣ノ御答辯ノ中ニ、戰稅ノ中、今期議會ニ廢止案ヲ出シタイト思フノハ、宅地價修正、竝ニソレヨリ來ルトコロノ宅地稅率トカ、醬油稅ニ係ツタ事、關稅ト取引所、是デ腹案ノ大要ハ得マシタデアリマス、獨リ私共ノ目デ見ルノミナラズ、國民全體ノ目デ見テ既ニ戰時稅中堪ユベカラザル惡稅デアルト目セラレテ居ルノハ、寧ロ今ノ御述ニナツタ稅目以外ノモノニ、國民ノ輿論ハアルト私ハ信ズル、其他ニ付イテハ大藏大臣ノ答辯ハ尙調査中デアル、斯様ナ御答デアッタヤウニ、思ヒマスガ、又一面ニハ調査會ヲ開イテ其改廢ヲ議セヤウト云フ御腹案デアラウト思ヒマスケレドモ、國民ノ重大ナル負擔ニ關係シテ居ル稅目ニ付イテハ大藏大臣トシテノ改廢ノ腹案ガ他ニ調査中ト云フ言葉ガアル以上ハ、尙是ニ向ッテ改廢ヲ加ヘナケレバナラヌ必要ハ認メラレテ居ルモノト信ズル、ソレデアリマス以上ハ成ルベク、早ク斯ル稅ニ向ッテハ、改廢ヲ加ヘタイト云フ此稅目ダケナリトモ、御示シニナルノガ、國民ニ對スル親切ノ舉動デアルト私ハ思フデアリマス、尙其調査中デアルト云フ、其調査中ニ屬シテ居ル稅目ガ、御示シガ出來ルナラバ、示シテ戴キタイト思フ、即チ此大藏大臣トシテハ戰時稅ニ對スル事柄ハ、最早調査中ト云フ言葉デナクシテ實ハ腹案ガアルベキ筈ト私ハ信ズルデアアル、此惡稅ヲ起シマシテヨリ、今日マデ三十七年度ヲ經過シ、三十八年度ヲ經過シテ、今ヤ既ニ三箇年度ノ始メニ至ツタデアアル、普通尋常一般ノ人ト雖モ、其職ニ居レバ最早調査中デハナイ、戰後將來ノ財政計畫ノタメニハ、此稅ハ斯ク改廢スベキモノデアルト云フ調査ガ立ッテナケレバナラヌ筈ト私ハ思フデアアル、是ハ大藏大臣トシテ正當ノ職ヲ盡スニ於テハ、斯クアルベキコト、思フデアリマス、阪谷サンガ他ノ法律家ノ人ガチヨット財政行政ノ中ヘ飛入りヲシタト云フヤウナ位置ナレバ、本員ハ之ヲ責メナイデアアルガ、永ク大藏省ニ居ラレ、其經歷其職責ノ上ニ於テ、今日其腹案ガアルヘキ筈ト私ハ信ズルデアアル、ソレデ此調査中ト云フ言葉デナク、他日改廢ヲ加フベキモノハ、今御述ニナツタ宅地價取引所、關稅、醬油ノ外、尙大藏省ガ調査ヲシテ居ルトコロノ稅目位ノコトハ、御舉ゲニナルノガ親切ナル舉動デアルト信ズルカラ、ソレヲ一ツ御尋シマス、第二ニハ、今望月君ノ御尋ノ一ニ付イテ、御答ニナツタ調査會ノ内容ヲ略シ御示シニナツタ、即チ其審査ノ方法——調査委員會ト云フコトニ付イテ大藏大臣ノ御答辯ヲ速記録デ見マシレバ、相當ノ年限ヲ置イテ之ヲ調査シタイ、斯様ナ言葉デアッタ、其相當ノ年限ト云フコトニ付イテハ、是カラ戰時稅ノ贊否ヲ決スルニ餘程重大ノ事項デアルト思フ、ソレ故ニ今ノ腹案ノトコロデハ、是ハドノ位ノ年月ヲ以テ調査ヲ完結シタイト云フ御見込デアアルカ、其邊ヲ一ツ御尋シタイト思フ、是ガ私が御尋スル第二點——第三點ハ今度ノ腹案ニナツテ居リマス戰時稅繼續委員ノ内容ハ、詰リ豫算面ニ現ハレテ居ル一億六千萬圓ノ金額ヲ、永ク徵收シナケレバ國家ノ財政ガ立行カナイト云フ御考カラ、之ヲ御出シニナツタモノト推察シマ

ス、法律ノ文面デハ、第一條、第二十七條ノ變更ニ屬シテ居ルケレドモ、其精神ハ一億六千萬圓ノ金ヲ取ルト云フ御精神ト思フ、其一億六千萬圓ガ果シテ大藏省ノ調査——此内閣ノ豫算案ノ如ク取ラレ、モノデアルヤ否ヤト云フ疑問ハ、此贊否ヲ決スル上ニ於テ、解決スベキ重大ナルコト、思ヒマスカラ、私ハソレニ付イテ果シテ内閣ノ豫算ノ收入案ガ正確ナルモノト國民ガ信ジマスルヤ否ト云フコトニ付イテ御尋シタイト、之ヲ推定スルニハ、過去ノ大藏省並ニ内閣ノ此財政上ノ技術ノ程度ハ幾何デアッタカ、國民ハ安心シテ今ノ内閣並ニ大藏當局者ニ向ッテ、尙此財政ノ技術ヲ信任シテ安心シテ托シ得ラル、ヤ否ヤト云フコトヲ計ルニハ、過去ノ事蹟ヲ以テスル外ナイ、過去ノ事蹟ニ付イテハ、私ハ參考ノタメニ一ノ斷案ヲ下シテ一ツ當局者ノ辯明ヲ煩ハシタイト思フ、戰時稅ヲ起シマシテカラ、既ニ現計トシテ大藏省ガ當然私等並ニ國民ニ向ッテ報告ノ出來ルダケノ統計トシテ御渡シニナツタノハ、三十七年度ノ第一次計畫増稅收入概表ト云フモノデアアル、是ニ依ッテ大臣ノ正確ナル答辯ヲ一ツ與ヘテ貫ヒタイト思フ、是ニ依リマスレバ私ハ思フノニ、當局ノ財務官ノ技術ハ甚ダ信任シ難イ要點ガ、此中ニ籠ッテ居ルト思フデアアル、其證據トシテ茲ニ舉ゲタイノハ、第一、砂糖消費稅、是ハ豫算ニ於テ八百萬圓ヲ徵收シタイト云フコトデ、當局者ガ成案ニナツタモノヲ議會ハ通過シテ居ル、ソレガ實際徵收ノ實額ヲ見マシルト、六百萬圓ノ減額デアリマス、八百萬圓ノ豫算ニ對シテ六百萬圓ノ減額ヲ生ジテ、僅カニ百八十萬圓ノ徵收ト云フコトハ、豫算ト實額トノ相違ガ餘リ甚シイト思フ、ソレカラ毛織物ノ消費稅ヲ見マシルト、豫算面デハ二百萬圓ノ徵收ノモノガ、實際ノ徵收額ハ四百萬圓、倍數ニ上ボッテ居ル、是ハ増加ノ方モ亦甚シイト私ハ思フ、ソレカラ取引所稅ノ五十三萬圓ハ二十七萬圓減少シテ二十五萬圓僅ニ徵收サレタ、ソレカラ其次ギノ石油消費稅ノ百二十三萬圓ノ收入豫算額ハ、實際ニ於テ六十四萬圓ヲ増シタ、殆ド二分ノ一ヲ増シタデアアル、是モ亦増シタ方ガ餘リ甚シイト思フ、ソレカラ其次ギノ印紙收入稅ノ三百六十萬圓ノ收入豫算額ハ六十七萬圓ヲ減少シタデアアル、サウシテ總額ニ於テ終ニ三百萬圓ト云フ缺陷ヲ生シタデアアル、國家全體ノ經濟界ヲ計テ收入豫算デアアルカラ、大概ナコトハ無論アルベキコトト、私ハ容赦ヲ致スデアリマス、收入ヨリモ倍額ノ徵收ガアデ見タリ、若クハ十分ノ八九ノ缺陷ヲ生ジテ見タリシルト云フコトハ、何等ノ基本ニ依リ、何等ノ材料ニ依ッテ、此收入豫算ト云フモノヲ編マレノデアアルカ、殆ド國民トシテ私ハ疑ハシイト思フ、平生調査ニハ從事セシテ居ルモノデアアルガ、是ノ如キ豫算ト實額トノ缺陷、或ハ増加ノ程度ノ此金額ノ甚シイヲ見ルト、今年ノ繼續案トシテ出サレテ居ル此戰稅ノ繼續ヲシテ見タトコロガ、大藏省ノ豫算ノ一億六千萬圓ト云フ收入豫算ハ、果シテ得ラレモノデアルヤ否ヤ、或ハ大ニ増加シ、或ハ又驚クベキ缺陷ヲ生ジハシナイカト云フ憂ハ、是ヨリ推サレルト私ハ思フ、是ハ過去ノ事ニ、屬スルデアアルケレドモ、又形式ヨリ云ヘバ、前内閣ノコトニ屬シマスルケレドモ、當局者ハ實務ニ於テ、引續イテノ御責任ガアルト思フカラ、三十七年度ノ第一戰稅計畫ニ於テ、何等ノタメニ是ノ如キ甚シキ缺陷ト、甚シキ増加ヲ其收入ニ於テ現ハシタカ、是ヲ一ツ國民ノ安心ノ往クタメニ親切ナル御答辯ガ欲シイト思フデアリマス、第四ニハ戰時稅ノ稅目ノ中ヲ見テ見マシレバ、殆ンド十分ノ八九ハ其徵收ノ方法ト目的ハ要領ヲ得ルデアリマスガ、獨リ國民トシテ又此委員諸君ノ中

ニモ、私と同シヤウニ疑フ持テ居ラレル御方がアラウト思ヒマスノハ、此織物稅徵收ノ方法デアル、ソレヲ見テ見マスルト、當局者ハ既ニ御承知ノ通ニ、印紙稅法ヲ採用シタ、消印稅法ヲ採用シタ、保證金ヲ以テ納稅ノ猶豫ノ法ヲ採用シタノデアル、ソレカラ實買ノ際ニ價格ノ騰貴毎ニ、一反一反ニ其割合ノ課稅法ヲ採用シタ、殆ンド世界中有リトアラユル稅法ヲ織物ノ稅ニ當倣メタノハ、此日本ノ織物ノ稅法デゴザイマス、其中ニ全國ノ徵收法ヲ見マスレバ、種々様々ノ稅法ガ行ハレテ居ッテ、或ハ同業團體ニ委託ヲシテ徵收ヲヤッテ居ル所モアルヤウデアル、又稅率ハ全國各地ニ於テ、或ハ一割ニ當リ或ハ五分ニ當リ、或ハ六分ニ當ルコトナリハシナイカ、ソレデ印紙稅法、消印稅法、其他第十三條ノ第二ニ規定シテ居リマス、一ツノ取引毎ニ價格ニ相違ガアレバ納稅ヲシコト云フ、第十三條ノ第二ノ稅法、是等ノモノヲ全國ニ實施シテドレガ一番廣ク行ハレテ居ルカト云フコトヲ聞キタイと思フ、諸リ織物稅法ハ此様ニ區々ニナッテ居ルガ、ソレガ實際今日行ハレテ居ル稅法ハ、其中何程ノモノガ最モ廣ク行ハレテ居ルカト云フコトヲ聞イテ置キタイ、是デケノコトハ私ハ當局者ニ辯明シテ此處デ求メテ置キタイと思ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 御答致シマスガ、固ヨリ此稅法ノ調查即チ得失ト云フコトヲ調ベルコトニ付イテハ、一日モ怠ラハ居リマセヌ、併ナガラ未ダ十分ナル見込ノ立タヌノニ、輕キニ是ヲ言葉ニ發スルト云フコトハ、却テ國民ニ於テ種々ノ感ヲ起スト云フコトカラ、凡ソ見込ノ立タヌコトニ付イテ御話ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ今御尋ノ織物稅デアル、或ハ通行稅デアル、狩獵稅デアルトカ、營業稅デアルトカ、若クハ所得稅デアルトカ云フヤウナ事柄ニ付キマシテモ、既ニ法案ヲ議會ニ提出シタ場合ニモ諸君ノ御論ガアッテ、大體ニ於テ原案ヲ是トシテ、御通過ニナッタコトモ能ク承知シテ居リマスカラ、ソレ等ノモノニ付イテハ調查致シテ居リマスノデス、調查致シタ中ニ腹案ノ既ニ出來タモノモアリマスガ、是ハ決シテ當局者ノ口カラ輕キニ言フコトハ宜クナイコトデ、確ト見込ノ付イタ上デナクテハ申上ゲラズ、又申上ゲルト云フコトハ却テ宜クナイト考ヘマス、故ニ總テ調查致シテ居ルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、又調查會ガ出來マシタ以上ハ調查會ノ議員諸君ニ諮リマシテ、一日モ速ニ其結果ヲ舉ゲルト云フコトニ努メル積リデアリマス、ソレカラ此收入ノコトニ付イテ御尋デゴザイマスガ……

○淺野陽吉君 調查ノ年限ハ凡ソドノ位ノ御見込デスカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 一日モ速ニ目的ヲ達スル

○淺野陽吉君 一日モ速ニ目的ヲ達スル

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 先ヅ二箇年位ハ掛リマセウト考ヘマス、(淺野陽吉君「ソレガ一日モ速ニト云フノデアリマス」ト呼フ)ソレカラ此收入ノコトニ付キマシテハ、既ニ御話モシタコトデアリマスガ、此一億六千萬圓ノ收入ハ、年ニ依リマシテ間接稅ニ屬シマスルモノハ、種々變動モゴザイマセウガ、是ハ平均テ論ズルヨリ外仕方ガゴザイマセヌケレドモ、政府ニ於キマシテハ、確ニ目的ヲ達スル考デアリマス、此三十七年ノ現計ニ於キマシテ増減ノアリマスニ云フコトハ、是ハ此稅法實施ノ初年デアリマシテ、統計ノ材料ノ如キモ不備デアルノミナラズ、又此見越シタ收入トカ、或ハ延納トカ云フ事柄ノタメニ、増減ヲ生ジテ居ルモノモゴザイマス、是ハ豫算トシテ何レノ國ニ於キマシテモ、

豫算ト云フコトニ付イテ決算ト同様ナ成績ヲ舉ゲルコトハ出來マセヌ、ソレ故ニ大體ニ通ジテノ缺陷ノ生ゼント云フコトヲ當局者ハ始終期シテ居ルノデ、或ハ減ズルコトモ、増スコトモアルト云フコトハ、已ムヲ得ヌ、即チ總テノ平均ノ上カラ歲計ノ缺陷ヲ來シ、歲出ニ對シテ財源ニ不足ヲ生ゼシメント云フコトガ、財政上ニ於テ、極メテ必要ナコトデアリマス、又織物稅ノ徵收ノ方法ハ、今日ハ引取稅ノ方法ガ最モ行ハレテ居リマシテ、一番便利ト思フ、而シテ此原價ノ査定ノ方法ハ各地ニ分レテ、多數ノ收稅官吏、又總テノ製造家トノ間ニ話ヲ仕合ウコトデアリマスカラ、決シテ一厘一毛モ違ハヌヤウニ往クト云フコトハ、出來得ベカラザルコトデアリマス、併ナガラ段々報告ガ中央ニ集リマスニ從ッテ、中央デエラク廉イト思フ所ハ、ソレハ照會ヲ發シテ引直シ、高イト思フ所ハ、又之ヲ減ズルヤウニシテ、段々統一スルヤウニ致シテ居リマスカラ、或ハ稅法ノ施行ノ初メニ於テハ、不均一ナコトモアラウト思ヒマスガ、現在ニアリマシテハ、大イニ其不均一ハ直ッテ餘ッテ居リマス、是デケ御答ヲ致シテ置キマス

○淺野陽吉君 引續キ御尋ネラシタイ、私ノ質問ガ何シデカ大藏大臣ニハ甚ダ惡意ニ解セラレテ居ルヤウデアリマスガ

○委員長長谷場純孝君 淺野君——成ルベク簡單ニ、成ルベク明瞭ニ……

○淺野陽吉君 私人一體言フ事ニハ不明瞭ト云フコトハナイ筈ト私ハ信ジテ居リマスガ、織物稅ノ稅法ノ中最モ多ク行ハレテ居ルノハ引取稅ト云フノデアリマスガ、ソレハ消印稅ガ最モ行ハレテ居ルト解釋シテ居リマスガ、引取稅ト云フノハ、何レノ方ニ屬シマスカ——消印デモナイ、印紙デモナイ現金デ其場テ受取ルト云フノデスカ

○政府委員菅原通敬君 消印デ現金ヲ納ムル時ハヤルコトニナリマスケレドモ、稅法ノ上デハ印紙差支ナイノデアリマス

○多田作兵衛君 チョット御尋ネ致シマスガ、一億六千萬圓ノ戰時稅ヲ是非トモ繼續致サナケレバナラヌト云フ辯明ハ屢々承リマシタ、其御辯明ノ中ニ戰後要シマスルノハ、一時限リノモノデナクシテ、長ク支出シナケレバナラヌト云フコトモ、屢々御説明ニナリマシタガ、重ナルモノハ承ッテ居ルノデゴザイマスガ、一億七千萬圓餘ニナルト云フコトノ數字ヲ一廉々々ニドウツ御示シテ請ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 御答致シマスガ一億一千万圓ガ國債ノ償還基金、二千二百万圓ガ恩給年金及賑恤金、一千万圓ガ陸軍ノ軍事費、四百二十七萬圓ガ海軍ノ軍事費、百八十二萬圓ガ韓國、滿洲及樺太郵便電信事務費、一千四百五十一萬圓ガ鹽ノ專賣、其他ノ費用、即チ此徵稅費、之ヲ合計致シマスルト、一億七千二百六十六萬圓バカリニナリマス、即チ鹽ノ專賣其他ノ徵稅費ト云フモノガ、千四百五十一萬圓デゴザイマスカラ、之ヲ引キマスレバ戰時稅一億六千万圓ト云フモノニナリマス、併シ政府ノ勘定ハ費用ハ費用トシテ、別ニ勘定致シマス、ソレ故ニ一億七千二百萬圓ニナリマス

○多田作兵衛君 此非常特別稅法ハ匆卒ノ際ニ出來マシタモノデアル故ニ、一日モ速ニ改正シタイト云フ御言葉ハ承リマシタガ、別ニ調查委員會ヲ設ケテ取調ベナラスト云フコトデアリマスガ、最初期限ノ事デ、追々質問モ起ッテ居リマスガ、大藏大臣ノ御答ハ一日モ速ニ致シタイケレドモ、愈々結了ト云フコトハ、二箇年以下デアルト云フコトデアル

ト信シテ宜シウゴザイマスカ、又調査會ニ關スル官制ノ御發布、及豫算等ハ不日御提出ニナルコト、心得テ宜シウゴザイマスカ、御尋ネテ致シマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此調査會ニ關スル官制竝ニ追加豫算ハ不日議會ニ提出致シマス、其官制ハ勅命ヲ發布ニナリマスガ、追加豫算ハ議會ニ不日提出ヲ致シマス、ソレカラ調査ノ期限ノ事デアリマスガ、之ハ調査會ノコトデ、調査會ニ諮ラズシテ、期限ヲ大藏大臣カ言フト云フコトハ、多少憚ラデ居リマスガ、併ナガラ是ハ十分調査會ト云フモノヲ督勵致シマスレバ、先ヅ二年以内ニハ出來マセウト思ヒマス

○濱田國松君 此ハ極ク大體ニ付イテ大藏大臣ニ質問致シタイ、此改正ハ第一條、第二十二條ノ削除ト云フコトニナッテ居リマスノデ、非常特別稅法ト云フ此稅法ノ題目ハ改正ニナラヌコトニナッテ居ル、私ノ考ヘルニハ、法律ニ致シタコロガ稅法ニ致シタコロガ、其名題ハ其内容ヲ包括シテ現ハストコロノ性質ノモノデアロウト思フ、ソレデ今日ニ於テ本改正法ガ制定サレマシタノハ、非常特別稅法ト云フガ如ク、非常特別ノタメニ、負擔セシムルガタメニ、名題ガ出來タモノト思フ、然ルニ今同本稅法ヲ繼續シテ據置クト云フコトニ付イテハ、過日來大藏大臣カラ、戰時ニ於テハ是ハ特別稅法ノ性質デアツタケレドモ、戰後ノ大經營ニ關シテハ國民ノ納稅ノ義務ノ程度カラ論ズル、此位ガ普通程度デアロウ、必シモ苦痛ヲ感ズルモノデナカラウ、故ニ第一條ト第二十二條ヲ削除スルト云フコトニナッテ居ル、シマスルト非常特別稅法ト云フ題目ヲ此儘ニ殘シテ改正ヲシナイト云フコトニナリマス、大藏大臣ノ此稅法ニ依リ負擔スル國民トシテハ——戰後トシテハ是ハ納稅ノ普通ノ狀態、普通ノ程度ト云フ御説明ノ趣意ニ違フコトニナリマス何ガ故ニ第一條第二十七條ノ二條ノミヲ削除シテ、非常特別稅法ノ題目ハ改正セラレヌデアリマスガ、之ヲ改正セラレルト云フコトガ至當デアリマスナラバ、此非常ト云フコトヲ存置シ、特別稅ト云フコトノ名目ヲ存置セラル、御主意ヲ、御説明ニ預リタイ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此名稱ノコトニ付キマシテハ、別段差支ハナイモノデアリマスカラ、格別エライ研究シテ、此名稱ヲ殘シタコトデナク、中ノ二條ヲ創リマス、改正ノ目的ハ達スルデアリマスガ、併ナガラ非常特別稅ト云フ名稱ハ、矢張存在シテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、是ハ即チ一時限ノモノデ、調査會ヲ設ケテ改正シヤウト云フ考ニナッテ居リマスカラ、名稱マデ改メル必要ハナイト思ヒマス

○島田三郎君 今御答ノ中ニ鹽專賣等ノ徵收費用一千幾萬圓トゴザイマシタ、此「等」ト云フ中ニハいろ／＼ノモノガ含マレテ居リマスガ、特ニ私ハ鹽專賣ノ徵收費用ガドレ程カ、ルカ聞キタイ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 一千三百六十一萬九千七百圓ト記憶シテ居リマス

○島田三郎君 一千三百六十萬圓、鹽ノ專賣ノ徵收費ガ掛ルト、豫算ニハ二千六百二十七萬四千八百三十一圓トアリマスガ、丁度鹽ノ收入ノ半分バカリ徵收費ガ掛ルト云フコトニ算定シテ宜イカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ鹽ヲ買ヒマシテ、サウシテ賣ルノデゴザイマスカラ、大變費用ガ多ク掛ル、即チ鹽ヲ製造シタ人カラ買ッテ、ソレニ稅ヲ課シタモノヲ賣ルカラ、賠償及交附金ガ千二百七十一萬九千五百三十一圓掛リマス

○宮崎榮治君 一ツ御尋致シマスガ、非常特別稅ト云フ法律ノ名稱ヲ存置セラレマ

スルコトニ付イテノ質問ガ起ッテ、御答ガゴザイマシタガ、尙大臣ヨリハ屬、修正ノ御意見ヲ御發案ニナルト云フ御話モゴザイマシタガ、此修正ニ付イテノ形式ハドウ相成リマスデゴザイマスカ、非常特別稅ノ中ニ修正ヲ加ヘマスモノハ、本法ニ修正ヲ加ヘルコトニ相成ルト思フ、例ヘバ地價修正ト云フ如キモ、地租條例中ニ修正ヲ加ヘテ非常特別稅カラ取除クモノトナリハシマセヌカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 御尋ノ如クニナルト考ヘテ居リマス、段々中ノ稅ガ改マリマス、此非常特別稅ト云フモノハ、皆條文ガ段々破壊セラレ、コトニナリマス

○鈴木總兵衛君 大藏大臣ニ質問シマスルガ、唯今調査委員ハ官吏及貴衆兩院ノ議員ヲ以テ組織スルト云フコトデアリマスガ、是ハ官吏タケテ手が足ラヌカ或ハ智識ガ狹イカラ、貴衆兩院ノ議員ニ手傳ツテ貰ウト云フ主意デアリマスカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 是ハ戰後大切ナ問題デアリマスカラ、成ルベク經驗ノアル人ヲ廣ク寄セタ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス

○委員長長谷場純孝君 諸君ニ御諮リ致シマスガモウ、委員會モ四回重ネマシテ諸君ノ御質問モ殆ド盡キタリト思ヒマス、是カラ討議ニカ、リマセウト思ヒマス、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレハ國債整理基金特別會計法案、此法案ヲ是カラ討議ニカ、リマス

○淺野陽吉君 國債整理基金カラ討議ニカ、リマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○淺野陽吉君 此國債整理基金ニ反對ノ意見ヲ、唯今カラ申述ベマス、大藏大臣カラ唯今ノ說明ニ據リマスレバ、國債整理基金ヲ設ケル所以ハ、大藏大臣答辯ヲ摘ムデ考ヘテ見マス、主タル目的ハ公債ノ價格ヲ維持スル、寧ろソレヲ高ク維持シテ、置イテ、サウシテ後日公債募集ノ便宜ヲ計ルト云フ御趣意デアリヤウニ聞取ッテ居リス、其外ニ殆ド主タル是ニ付イテノ理由ハナカラウト存ジマス、ソレト同時ニ現内閣竝ニ大藏當局ニ於テハ、三十九年度ノ豫算ハ、兎ニ角編ムダケレドモ、四十年年度若クハ其以後ニ於ケル財政計畫ノ腹案ハナイ、詰リ財政上ノ大方針ハナイト云フコトニ推察スル、ソレデモウ一ツハ、將來ノ日本ノ財政ニ大影響ヲ及ボストコロノモノハ、陸海ノ兩軍費デアラウト思ヒマス、ソレハ陸軍大臣海軍大臣ノ答辯ニ據レバ將來餘程増額ノ見込デアルトモ、決シテ豫算ノ上ニ於テ安樂ナ境遇ハ與ヘ得ラレヌト云フ推察ガ下サル、ノデアリマス、ソレデケノコトヲ聞キ得タ考ヲ根據シテ、茲ニ討論ヲ致シタイト存ジマス、大藏大臣ノ豫想ノ如ク、減債基金一億一千万圓ヲ置ケバ、果シテ公債ノ價格ヲ上ゲテ、サウシテ將來ノ財政ノ安寧ヲ計ルトコトガ出來ル見込ガ立ツヤ否ヤト云フコトハ、一ノ大ナル疑問デアルト思フ、其疑問ニ付イテハ、本員ノ之ヲ破ルトコロノ論據ハ、後段ニ讓デ先ヅ大藏大臣ノ考ノ如キハ、人爲ヲ以テ公債ノ價格ヲ上ゲルト云フヨリ外ハナイト思ヒマス、今日ノ經濟社會ノ如キ、内地ニ於テハ、比較的貨幣ガ膨脹シテ遊金ノ多ク際ニ當ッテ、尙更ニ是向ッテ公債ノ價格ヲ一ノ政策ヲ以テ引上ゲルト云フコトハ、經濟社會ノタメニ不

安心ト思ヒマス、若シ大藏大臣ノ想像ノ如ク爲シ得ラル、事柄トスルモ、今日ノ經濟社會ノ狀態ニ於テ、爲スベキ政策デアイト思ヒマス、人爲ヲ以テ此公債ノ價格ヲ引上ゲテ置カウト云フコトハ、勿論將來ニ向テ一ノ不安心ノ境遇ヲ示シテ、不安心ノ種ヲ蒔散ラスモノト思ヒマス、若シ爲シ得ラル、トシテモ、今日ノ經濟界ニ對シテハ、ヨリ善キ政策デアナイ、寧ろ惡政策デアルト斯様ニ私ハ思フデアリマス、是ハ私ガ根本ヨリ大藏大臣ノ政策ニ向テ反對スル第一ノ理由——財政整理ト此公債整理ト相伴ウテ、今日ノ經濟狀態並ニ財政狀態ニ於テハ、離レベカラザルモノデアリカラ、公債ノ整理、財政ノ整理ノ事ニ付イテ反對ヲ表スルモノハナイノデアアル、若シ此衆議院ノ議場ガ——此委員會議ノ議場ガ學校ノ講堂デアリマシタナラバ、私ハ大藏大臣ノ論據ヨリモ、尙多クノ論據ヲ以テ此公債整理基金ノ必要ヲ説ク者デアルケレドモ、此問題ハ財政狀態詰リ將來如何ト云フコトカラ考ヘテ見レバ、如何ニシテモ大藏大臣ノ論據ノミヲ以テ、此案ニ贊成ヲ表シ、此案ニ向テ大藏大臣ノタメニ味方ニナツテ論法ハ、如何ニモ立テ難イノデアアル、ソレト第二ノ私ノ論點ハ減債基金ト云フノハ、果シテ此減債ノ目的ヲ達セラルルヤ否ヤト云フコトノ疑ガアル、是ハモウ別ニ多クノ言葉ヲ費サナクテモ、大藏大臣ガ説明セラレタトコロノ、財政上ノ材料デスカリ破ブルノデアルト私ハ思ヒマス、大藏大臣ノ辯明サレタトコロノ財政上ノ狀態ヲ、四十年度ノ想像ヲシテ見マスレバ、如何ニナルト云フコトヲ尋ネテ見レバ、總テ三十九年度ノ歳出豫算ノ中ノ、一億三千万圓ガ經常費ニ屬スル、二億五千万圓ガ臨時々局ニ關係ノ費用デアアル、其内一億七千万圓ガ將來ニ殘ッテ、經常ノ性質ヲ持ッテ居ル、斯様ニ論セラレテ居ル、大藏大臣ノ想像ノミヲ以テ見テモ、ドウシテモ四十年度ノ歳出ハ四億万圓ヲ下ラナイノデアアル、ノミナラズ西園寺首相ハ行政刷新ハヤラナイト斷言シテ居ル以上ハ、經常ノ歳出ハ四十年度ニ於テ一文モ減ジナイト推測スル、是ヨリ論ジマスレバ、四十年度ノ歳出ハ四億万圓ヲ下ラナイノデアアルノミナラズ、今度ノ三十九年度ノ豫算ヲ見テ見マスレバ、所謂滿韓ノ經營ノ費用ハ、軍事費ヲ除イテ實ニ後トハ僅々タルモノデ、後トハ滿洲鐵道ノ經營デアルトカ、撫順炭山ノ經營デアルトカ、朝鮮ノ經營デアルトカ、尙一億七千万圓ハ後日ニ向ツテ經常費トシテ繼續シテ行クト、大藏大臣ハ斷言サレタ、其金額ヨリモ其事實ニ於テハ、ヨリ多クナラネバナラス、又此推測ノ支出ト云フモノハ、四十年度以後ニ於テハ止ムヲ得ズ殖エルト私ハ推測致シマス、朝鮮並ニ滿洲其他樺太ノ狀況ヨリ推セバ、確ニ來年度豫算ハ、其時局關係ノ支出デ、經常ニ屬スベキモノハ二億万圓ヲ下ラナイト私ハ信ジマス、之ヲ私ノ想像デハ、大藏大臣ヨリ教ヘラレタ材料ヲ以テ想像スレバ、四十年度ノ歳出ハ如何ニシテモ四億三千万圓ヲ下ラヌノデアルト私ハ信ズル、ソレヨリ尙一步進ンデ又軍事計畫ヨリ是ヲ考ヘテ見マスレバ、陸軍大臣ノ答辯ニ依レバ陸軍復舊費ノミニシテ六箇年ノ繼續、總計六千五百万圓、海軍大臣ノ答辯ニ豫算委員會、並ニ本會ニ於ケル答辯ヲ綜合シマスレバ、是ハ九箇年間に復舊費繼續デアアル、其金額ヲスカリ寄セテ合計シマスレバ、一億二千万圓ハミ出スノデアアルノミナラズ、船艇補充基金モ四十年度ニ於テ若シ許スナラバ、海軍大臣トシテハ斷言シテ是ヲ繰入レタイト云フ明答ヲ待タヌノデアアル、是ヲ以テ見マスレバ、海軍復舊費ト船艇ノ補充基金ヲ併セテ、今後數年間ニ於テ、總金額一億七千万圓ニ近イ金ヲ要スルノデアアル、而シテ軍備擴張ハ是等ノ復舊費以外

ニ、當局者ハ將ニ要求セントシツ、アル、陸海軍ハ必ズ次ノ議會ニ於テハ、陸軍ノ擴張ノ計畫モ定メテ是ヲ諮ハント云フコトハ、豫算委員會本會デ言ッテ居ル、是ニ向テ有力デアデ、内閣ガ已レノ手ヲ以テ率ヒ、己レ一ツノ睨ミヲ以テ廟議ヲ決スルガケノ威嚴アリ信用アルトコロノ、大藏大臣ガ座ッテ居ッタナラバ、所謂將來ノ歳出ヲ制スルコトガ出來ルデアラウト私ハ信ズルノデアアル、甚ダ阪谷大藏大臣ノ前デ申上ゲルノハ少シ失禮デアルケレドモ、ソレニ私ハ甚ダ懸念ヲ抱クノデアアル、是ハ私ノミナラズ、委員諸君ノ中ニモ此懸念ヲ有ッテ居ラル、方ガアラウト思フ、國家ノタメニ論ズルノデアアル、私ハ決シテ阪谷其人ニ向ッテ辯法ノ言葉ヲ呈シ得ナイノデアアルカラ、此コトハ御容赦ニ預リタイ、此ノ如ク現内閣ノ提出ト、將來ノ事實ヲ推測スレバ、如何ニシテモ四十年度財政ノ支出ハ、遙ニ四億ノ上ニ上ッテ行ク、五億ニ近イト云フヤウナ不幸ヲ國民ハ見ハシナイカト思ヒマス、サウシテ一方ニ歳出ノコトハ其通、歳入ハ如何ニ増シテ來ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、誠ニ心細イノデゴザイマス、本年度ノ三十九年度ノ豫算ノ中ニモ、此即チ此軍事費收入ノ中ニ四千万圓程ト、三千万圓四千万圓近イ豫算ガ計上サレテ居リマス、併ナガラ其中ニ戰時品ノ賣却代金、並ニ船舶ノ賣却代、本三十九年度ニ於テハ、國家ノ價アル財産デアルケレドモ、即チ收入財源デアルケレドモ、四十年度以後ニ於テハ、最早此豫算收入案ノ中ニ、其項目ヲ見出スコトハ出來ナイデアアラウト、此ノ如ク想像サル、項目ガ大分ゴザイマス、ソレヲ引去リマスレバ、四十年度ノ收入豫算ハ、幾許ノ金額ヲ以テ現ハル、デアアラウト思ヒマスレバ、連モ四億ノ額ニ手ハ届カナイデアアラウト私ハ悲觀フスルノデアアリマス、ソレナラバ其外ニ幾許ノ新財源ガアルデアアラウト云フコトヲ考ヘテ見レバ、大藏大臣ハ先般來豫算委員會並ニ本會ノ席上ニ於テ、財源ハ——利源ト云フモノハ滿洲ヲ見レバ、東清鐵道ガアル、撫順炭礦ガアル、朝鮮ニハ京釜、京義線ガアル、其他種々様々ナリ源ガアルト云フコトヲ仰セラレテ居ル、是ハ遠キ將來ヲ夢ミタナラバ、頗ル望ヲ屬シ得ラル、デアアラウト思フガ、遠キコトハ愚カ、四十年度ハ如何ニシテ暮スカ明日ノ食事ハ如何ニスルカト云フ狀況ニ陷ッテ居ル、今日ノ財政ノ狀態ヨリ是ヲ推シマスレバ、撫順ノ炭若クハ東清鐵道、其外滿韓ニ於テ利ヲ得ルト云フコトハ、餘程多、大ノ費用ヲ今後投ジタ後、初メテ產出サル、事柄デアルト私ハ思ヒマス、茲ニ考ヘテ見ルノニ、臺灣ハ最モ利源ノ多イ土地デアアル、東洋ニ於テ臺灣位天然ノ利源ノ多イ所ハ少ナイノデアアルニモ拘ハラス、三十九年度ノ今年度ニ至ッテ、漸ク當局者ハ臺灣ハ獨立自營自活ノ途ガ立ツト云フコトヲ公言セラレテ居ルノデアアル、ソレモヨク「質シテ見レバ、臺灣ニ於ケル軍事費ヲ除イテ、僅カニ行政費ノミノ自活ガ、今年ニ至ッテ立チ得ラル、デアアル、臺灣ガ我領土ニ歸シテヨリ、是ヲ數ヘテ見マスレバ、十年ノ歲月ヲ經タル今日、初メテ獨立自營ノ財源ガ生ジ出タノデアアル、況ヤ滿洲ノ如キ、朝鮮ノ如キ、臺灣ニ比較スレバ餘程富源ノ少ナイ土地ヨリシテ、此我國ノ財政ヲ此利源ヨリ助ケ得ラルルト云フ境遇ノ來ルノハ、餘程遠キ將來デアアル、ソレマデハ多大ノ費用ヲ投ジナケレバナラス、即チ國家ノ歳出ヲ促シタ結果デアルト思フ、三十九年度ノ豫算ヨリ四十年度ノ收入ハ健全ナル財源トシテ是ヲ搜セバ、三十九年度ノ中ニ八千萬圓ノ公債金額ハ引去ラナケレバナリマセヌ、是ヨリ考ヘテ見レバ、如何ニシテモ四億ト云フ金額ニハ手ハ届カナイノデアアル、或ハ是ガ減ジテ二億七千万、三億六千、三億五千ト云フ健全ナル財源ヨリ徵收シ

得收入ハ減少シハシナイカト悲觀スル、是ノ如ク考ヘテ見マスレバ、如何ニシテ此一億一千万圓ト云フ公債基金ヲ積ンデアツタコロガ、其實ガ舉ルヤ否ヤ、或ハ是ガタメニ却テ國家ノ法律ヲ以テ、少ナクモ一億一千万圓ハ減債基金ニ積ムト云フコトニ規定シタ以上ハ、泣クモ笑フモ御互ハ是ニ向テ積マセバナラヌ、其結果却テ新公債ヲ増スト云フ結果ニ陥リハシナイカ、又深ク立入ッテ見レバ、此一億一千万圓ト云フモノハ、減債基金ノ内、公債ノ利子トナラナケレバナラヌ、今年度ニ既ニ八千萬圓以上ニモナル、四十年度ニ於テ公債ノ額面ハ、大藏省ノ案ニ據テモ、二十四億ニ達スルノデアル、其利子ガ一億一千万圓ニ達スルト云フ案ヲ立デタ大臣既ニ御承知デアラウ、左スレバ一億一千万圓ヲ積ンデアツタコロガ、其金額ハ自然減シマウノデ、何ガタメ若シ減債基金特別法案ナド、名ヲ附スルノ必要ガアリマスカ、是ガタメ却テ國家ノ義務トシテ、國民ノ義務トシテ、法律ノ詔果、御互ニ泣イテモ笑イテモ此金ハ全收入ヨリ引去ランカ、終ニ種々難多ノ費用ヲ要求サレテ、却テ新ナル公債ヲ段々増加シテ往ク、其増シテ往クモノハ、今後數年間ハ増スデアラウ、財政ノ有様收入並ニ金利公債ノ金額ヨリ推察スレバ、如何ニシテモ此公債ノ全金ハ償還スルト云フ想像ハ付カヌデアリマス、或ハ時局關係ト云フ名稱ハ免カレルカモ知レヌガ、即チ普通常用ノ公債トシテ、金額ハ段々増シテ往キハシナイカ、統計上ヨリ又金ノ勘定ヨリ本員ガ論スルコロノ此論據ヲ打破ラレタケル確固タル想像——確固タル新財源ヲ見付ケラレテ居ル、諸君ハ兎モ角モ、若シ其論據ナク、其事實金ノ勘定ノ上ヨリ確カナル論據ノナイ人ハ、確カニ本員ノ想像ヲ破ラレヌコト、思ヒマス、不幸ニシテ必ズ本員ノ想像ガ國家將來ノ財政ノ狀態ニ適中スルデアラウト私ハ思ヒマス、斯ク論ジマスレバ、大藏大臣ノ想像ハ唯机上ニ繪ナリ繪ナリ描イテ、而シテ其繪ハ鳥ヲ描イテモ、獸ヲ描イテモ一寸モ動かヌト同ジク、國家ノ全體ノ公債額ハ今後數年間ハ減少スルコトガ出來ナイト云フ結果ニ陥ルト思ヒマス、是ガ私ガ根底ヨリ現内閣ノ基金案ニ贊同ヲ表スルコトガ出來ナイ所以デゴザイマス、其次ニ第三ニハ、大藏省ノ財政基金案ヲ見マス、凡ソ三十四五箇年間ニ亘ッテ居ルノデアル、其間今日ヨリ國家ノ狀態ハ平穩無事ニ往ツタナラバ、今日ヨリ一層平穩無事ニ往ツタナラバ兎モ角モ、併ナガラ大藏大臣自カラ屢々吾々委員ニ向テ矢ヲ向ケラレタノハ、國家ノ現狀ハ非常ナル變化ヲ來シテ居ル、個様ニ言ハレタノデ、又陸海軍兩相ハ將來軍備ニ付イテ一刻モ忽セニス可カラザルコトデ、東洋ノ形勢ハ未ダ安心ス可カラズト言ハレタ、本員等モ斯ク想像シマス殊ニ外部ヨリ來ル敵ノタメニ、國家ノ形勢ガ動クニアラズ、是ノ如キ案ヲ作ラバ、國民ガ此案ガ法律トナツタ後ニハ、國家ガ負フ國民ガ負フ義務トシテ、先づ第一ニ收入豫算ノ内ヨリ、一億六千万圓ヲ先決問題トシテ——優先權トシテ減債基金ノ内ニ繰入レナケレバナラヌト云フ責任ヲ負フタ結果、其真正ナル目的ハ達シラレナイデ、外部ノ敵ニ壓迫セラレ、ヨリモ、寧ろ内部ノ財政上ノ敵ニ壓迫セラレテ、我國ノ前途甚ダ危イト思フデアリマス、サウ推察シテ見マスレバ、大藏省ノ案ノ如ク、内閣ノ案ノ如ク、三十四五箇年繼續シナケレバナラヌ、此減債基金ノ目的ヲ達シ得ラレナイト云フヤウナ、悲境ニ陥ッテ此計畫ハ、果シテ三十四五箇年無事ニ繼續スルヤ否ヤ、四十年度ノ財政計畫ヲ見テモ、今日甚ダ心細イ、四十一年度四十一年度ヲ見テモ、甚ダドウモ心許ナイ勘定デゴザイマス、苟モニ目前内閣ノ意志ヲ引受ケタル大藏當局ノ人ニ向ッ

テ、並ニ現内閣全體ノ人ニ向ッテ聽クモ、將來ノ方法ハ少シモナイ、四十一年度以嚮ハ將來ノコトデアラルカ、如何ニシテモ御答ガ出來ナイト云フ、將來ノ方針ノ立タヌ人ニ之ヲ託シテ三十四五箇年ニ亘ル所謂國家ノ長計、ツレヲ託スルコト云フコトハ、尙更以テ心細イト思フ、若シ是ガ三十四五箇年ニ亘ッタコトニアラズンバ、其時ニ一時行ッテ公債價格ヲ上ケタトシテモ、一度挫折スル時ハ、立ドコロニ弱ハルト云フコトハ、公債ノ暴落、經濟界ノ紊亂トナル、公債ノ暴落ハ即チ銀行ニ取ッテ抵當ノ暴落トナッテ、甚ダシク金融界ヲ阻礙スルコト云フコトニナリハシナイカ、是ガ私ガ第三ニ大藏大臣ノ素論ニ反對ヲ表スル理由、如何ニモ三十四五五年ノ見込ガ立タヌデアリマス、或ハ諸君ハ挫折シナイト云フカモ知ラヌガ、若シ挫折シタナラバ如何ニ國家ノ慘狀ヲ呈スルドラウカ、是ガ私ガ大藏大臣ノ意見ニ向ッテ反對ヲ表スル第三ノ理由デアリマス、第四ニハ一度是ガ三四年カ五年カニ亘ル計畫案ナレバ、兎モ角モ三十四五箇年間ノ長歲月ニ亘ル、即チ國民ニ對シテ一ノ義務ヲ負ハセル法律ヲ以テ、收入ノ義務ヲ負ハセルト云フコトハ、將來頗ル危險デアルト思ヒマス、此財政整理ヲスルニ付イテ、將來如何ニ敏腕ヲ振フ當局者ガ居リマシタコロガ、先づ第一ニ一億一千万圓ヲ引去テ、之ヲ特別會計ニ繰入レルト云フコトハ、是ガタメ終ニ財政家ノ腕ハ絞リ上ケラレテ、他ニ腕ヲ振フ餘地ガ我國ノ收入歲計ノ内ニ一ツモナイト思ヒマス、是ガタメ財政ノ整理ヲナスコトガ出來ナイデ、終ニ立往生ヲシナケレバナラヌト云フ、三十四五箇年ニ亘ル腐レ縁ヲ結ブト云フコトニ至リマス思ヒマス、其故ニ私ハ寧ろ時ニ從ッテ減債ノ方法ヲ講究シテ往キタイ、若クハモウ少シ財政ノ基本カ立ッタ後ニ、此財政基金ノ方ハ健全ナル財源ヲ以テ立テ得ルマデノ時機マデ延バシタイト思ヒマス、一體將來ノ財政計畫ヲ立テル上ニ戰時稅ノ繼續ヲシマスレバ、寧ろ一億六千万圓ノ内一億ヲ以テ時局ノタメ膨レタ經濟ヲ補ッテ、六千万圓ヲ公債ノ財源ニ充テルト云フ時ガ來タナラバ知ラヌ、ソレマデ本員ハ之ニ向ッテ甚ダ危險ナル將來ニ向ッテ腐レ縁ヲ遺スモノト云フコトカラ、反對ヲ表スルデアリマス、是ガタメ私カ内閣ノ減債基金案ニ對スル反對ノ要點デアリマス、之ヲ矢張政治的ニ若シ考ヘタナラバ此問題ニ對シテ政友會ノ諸君ガ、同意ヲ表セラル、ノハ、今ノ内閣ニ少クトモ己レノ政黨ヨリ二三ノ大臣ヲ出サレテ居ル以上ハ、是ハ正當ナル義務デアルト思ヒマス、己レノ黨ヨリ首相ヲ出シタル者ガ、之ニ向ッテ贊成スルハ、無論正當ナル舉動デ、是ハ私ハ政黨トシテ其意ヲ諒トスルノデアル、又憲政本黨ノ諸君ハ戰時稅ノ成立チマス時ニ舉國一致ト云フ一ノ名ノ下ニ前ノ内閣ト妥協ヲサレテ、此戰時稅ヲ決定シ國民ノ負擔ヲ重カラシメタ結果、現内閣モ同ジ案ヲ續クナケレバナラヌト云フ、惡因緣ニ繋ガレタデアラウ、ツレ故ニ戰時稅ヲ起スト云フコトニハ與ッテ罪アリ——デハナイ、力ガアツタ憲政本黨ノ諸君ハ、是ニ向ッテ直チニ否決シテ、少クトモ此三十四五箇年ニ亘ル財政上ノ惡因緣ヲ茲ニ取去ラレ、是ヲ造ラナイト云フコトニ、一ツ御盡力ヲ願ヒタイ、又大同俱樂部ノ方ニ願ヒマスガ、是ハ現内閣ニ向ッテ贊成ヲ表サナケレバナラナイ、現内閣ヲ助ケネバナラナイト云フ因緣ハ少シモナイ御方デアルト思ヒマス、財政ノ將來、財源ノ將來ヲ考ヘタナラバ、此法案ハ將來ニ向ッテ非常ナル禍根ヲ貽シハシマイカ、是ガタメニ財政整理ハ却ッテ困難ニナルトモ、決シテ是ガタメニ國債ヲ減ズルカ云フコトハ、今後數年間ハ出來ナイデ、或ハ増シハシナイカ、寧ろ公債募集ノ便利ヲ計ルト云フコトガ、

大藏大臣ノ説明ニ依ルト明ニ推察シ得ラレ、ソレ故ニ憲政黨ハ何等ノ緣故モナイカラ、又惡因緣ヲ造ラレタ、大同俱樂部ノ諸君ハ今日ハ國家ノタメニ、本員等ノ説ニ同意サレシコトヲ希望スル、是ガ大同俱樂部ノ諸君ガ國家ニ對シテ忠實ナルヤリ方デゴザリマス、故ニ私ハ是ハ誠ニ友情ノ厚キ心ヲ以テ、大同俱樂部ノ諸君ニ望ムノデゴザリマス、是ガ反對スル理由ノ概略デゴザリマス

○菅原傳君 私ハ此案ニ贊成ヲ表スルモ、デゴザリマス、併シナカラ此案ハ殊ニ重大ナル案デゴザリマスガ故ニ、論ノ立テヤウニ依ッテハ隨分複雑ニモ相成マシテ、ナカク、込入タ問題ニナリマスケレドモ、常識ニ依リ虚心坦懷ニ是ニ向ッテ斷案ヲ下セバ、至ッテ簡明ナル案ト私ハ信ズルノデゴザリマス、此案ノ第一ノ目的トモ稱スベキハ、公債ヲ償還スル、借金ヲ支拂フト云フコトニ就イテハ、ナタモ異議ハアルベキ答ガナイト思フノデアリマス、戰後巨額ノ國債ニ對シ、是ヲ支拂ハナセバナラヌ、返還セバナラヌト云フコトハ、國民ノ俱ニ憂慮シテ居ル所デアリマシテ、是ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フコトニ付イテハ、ドナタモ異議ノアリヤウ答ガナイト思フノデゴザリマス、尤モ是ヲ支拂フ途ニ於テハ、年限等ニ付イテイロク、論ゼラル、方モアリマセウ、唯今淺野君ノ御演説中ニモ、年限ニ付イテ、或ハ時勢ノ變遷等ニ付イテ、憂慮セラル、點モアルノダガ、素ヨリ三十年トカ三十年以上ノ中ニハ、國際上ナリ或ハ内地ナリ、如何ナル變動ガアルカモ知レヌノデアアル、併ナガラ豫メ今日ノ如キ國勢ノ狀況ニ於テハ、出來得ルタケノ方法ヲ立テ置クコトハ、是ハ相當ノ順序デアアルノデアリマス、デアアルカラ大體ノ目的ニ於テハ、何人モ是ニ向ッテ反對スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、唯々方法ニ付イテ議論ガ生ズルノデアアル、今年限ノコトニ付イテモ、大變遷ガアルト云フノミナラバ、窮屈ニ考ヘテ是ノ如ク年限ヲ極メル必要ガナイデハナイカ、國力ノ發展、國ノ財政ノ都合ニ依ッテ、何時ニテモ隨意支拂ヘバ宜イデハナイカト云フ方モアリマスケレドモ、此法律ハ支拂フ法律ヲ決メテアルノデアハナイ、豫メ三十箇年ナリ、三十箇年ト極メテアルケレドモ、固ヨリ日本國ノ財政ノ都合ニ依ッテ何時ニテモ隨時ニ支拂フコトガ出來ルノデアアルカラ、是等ノ點ニ付イテハ別ニ憂慮スル必要ガナイノデアアル、次ニ此支拂ノ目的ヲ達スル同時ニ、第二ノ目的トモ稱スベキモノハ、此公債價格ノ維持ト云フコトデアアルノデアリマス、是ハ別段深ク論ズル必要モナイノデアアル、過般來諸君ノ質問ナリ、當局者ノ是ニ對スル辯解ニ依ッテ殆ド盡キテ居ルノデアアル、ツマリ是ノ如キ償還ノ方法ヲ立テマスレバ、内外ニ於ケル此國債所有者ガ、其心ニ安ンズルト云フコトハ、是ハ明カナルコトデアアル、殊ニ今日外國債ノ如キモノハ、非常ニ多クナッテ居ルノデアアル、一朝此外國債ニ變動ヲ生ジ、低落スルト云フ場合ガアルト致シマスルト、當ニ外國ノ所有者ガ疑心ヲ懷クノミナラズ、内國ノ國債所有者ニモ疑心ヲ抱カシメ、從ッテ内外ニ於ケル日本ノ利益ヲ害スル、日本ノ財政ヲ動亂セシムルニ至ランコトハ、言ハズシテ明カナルコトデアアルノデアアル、殊ニ此案ノ第一ノ目的トモ稱スベキ、此經濟界ノ信用、財政ノ動亂ヲ防グト云フコトハ、最モ必要ナルコト、思フノデゴザリマス、淺野君ナドモ數千言ヲ述ベラレタツタガ、要スルニ國論ノアルトコロハ、ドツチカト云ヘバ、正面カラノ御議論デナク、側面カラノ御議論ト私ハ聽キマシタ、若シ是ヲサウ心配シテ考ヘマシタナラバ、一時ニ此法案ヲ濫用スルト云フヤウナ當局者ガアッタナラバ、固ヨリ苦々シイコト、日本ノ財政上ニ動搖ヲ生スルコトモアラウガ、是ハ寧ろ善意ヲ以テ解釋スルガ當然デ

アルト思フノデアリマス、若モ此運用上ニ濫用ヲシタナラバ、ソレハ實ニ由々シキコトニナルカモ知レマセヌカラ、此運用上ニ付イテハ、多少心配ノコトモアリマスガ、併ナガラ私ハ繰返シテ申シマス、吾々ハ善意ヲ以テ之ヲ解釋シテ行ガネバ相成ラヌ、若シ濫用スル場合ガアツタナラバ、吾々ハ立法權ヲ以テ、立法權ヲ執ッテ監督シテ行ケバ宜イノデアアル、又先キノ先キマデ心配致シタナラバ、先ニモ申上ゲマシタ通ノ三十年ノ中ニハ、如何ナル變化ヲ生ズルヤモ知レナイコトデアアル、依ッテハ是ハ時ニ臨ンデ處理スルガ當然ノコトデアアル、要スルニ私ノ論議ハ、思ヒマス、斯カルコトハ其時ニ臨ンデ處理スルガ當然ノコトデアアル、要スルニ私ノ論議ハ、第一ノ目的トモ稱スベキ借金支拂ノ點カラシテ、第二ノ目的ナル財政上公債ノ價格維持ト云フ點カラ申シマシテ、此法案ハ免モ角モ、今日ノ場合ニ於テ同意スベキモノト思フノデアリマスカラ、贊成ヲ表スル次第デアリマス

○波多野傳三郎君 私ハ此案ニ反對ヲ表シマス、三十七八年ノ戰役以前ニ内外將ニ十八億ニ達セントスル、合セテ二十餘億ノ公債ヲ内外ノ間ニ發行シ得タト云フコトハ抑、何ニ困ッテアルカ、我が帝國日本ノ經濟財政ノ事情ガ内外ニ明ニナリタルノタメデアアルト云フコトハ、蓋シ當局ノ國務大臣ニ於テモ、不同意ハ言ハレヌコトデアラウト思ヒマス、即チ今日ノ帝國日本、財政經濟ノ事情ヲ内外ノ間ニ蔽ハント欲シテ蔽フコトガ出來ズ、現ハルノデアリマス、即チ現ハル、コトハ信用ノ本トナッテ、今日戰前ニ在リシ五億ニ加ヘテ將ニ十八億ヲ募集シ得ントスルト云フコトデアアルナラバ、今日以後ト雖モ我が經濟財政ノ事情ヲ内外ノ間ニ蔽フコトハ出來ズ、是ガ現レテ居ルノガ、信用ヲ繫グ本デアアルト云フコトハ蓋シ當局ニ於テ不同意ヲ云ハレハシマイ、然ルニ國債整理基金特別會計法案ナルモノヲ制定セラル、ト云フ評ガ、世間ニ傳ハリマシタトキニ、本員ガ推測シマシタコトガ二ツアリマス、一ツハ此公債募集ニ先ッテ若シモ外國ニ對シテ何等カノ約束デモシテ居ラル、ガタメデアアルマイカト云フコトガ、一ツハ推測デアアル、今一ツハ内外ニ對スルト云フヨリハ、寧ろ内ニ對シテ御懸念デアアルマイカ、即チ既往ニ遡ッテ見レバ、財政ノ部面カラハ大ニ整理ヲ務メ、場合ニ依ッテハ、縮小モセネバナラヌ、軍事ノ部面ヨリシテハ大ニ整理ト云ハシヨリ、寧ろ擴張ヲ務メラレル、ソレガタメニ財政ノ部面ヲ壓迫スルコトガアル、斯ノ如キモノニ向ッテ、堤防ヲ築クト云フコトガ、一ツデアラウカト云フ推測ト、此二ツノ推測ヲ委員會ニ臨ミ、本會ニ於テ國務大臣ノ説明ヲ聞キマスル前ニハ、想像シタノデアリマシタガ、本會並ニ委員會ニ臨ミマシタカラハ、私ノ想像ガ誤ッタコトヲ覺リマシテ、實ニサウアラネバナラヌト大ニ安心シタ譯デアリマス、即チ公債募集ニ先ッテ、日本政府ヲ代表シタル日本銀行ノ副總裁高橋是清君ハ、是ヲ公債ニ應ジラレヨ、其代リニハ幾年間ニ之ヲ償還スルノ途ハ立テアルト云フヤウナコトヲ政府ヲ代表シテ約束セラレタカト懸念ヲ致シマシタトコロガ、言ツタカモ知ラヌガ、或ハ言ツタデアラウトモ思フガ、ト云フヤウナ、大臣ノ答辯デアッテ、サウ云フコトハシナイト云ハレマセヌケレドモ、ソレガ約束ト云フコトデナイ、即チ日本ノ經濟財政ノ實況ガ外國市場ニ明カニナッタ、ソレガタメニ安ンジテ此公債ニ應ズル、即チ日本ノ信用ニ依ッテ、之レヲ維持シタト云ハル、以上ハ、誠ニ過去ニ於テ此信用アリトスレバ、未來平和克復以後ハ愈々信用ハ増加スルトモ、減殺スル答ハナイト私ハ考ヘマスガ故ニ、此想像ノ誤リシハ大ニ喜ブベキコトデアアル、安心スベキコトデアアルト、此點ヨリ國債整理基金ヲ置クノ必要ハナイト云フコトヲ第一ニ覺リマシタ、是ガ第一國債

整理基金特別會計法案ヲ必要トセヌ一ノ理由トナリマス、今一ツハ從來ノ例ニ照スト云フト、軍事當局ノ壓迫ヲ受ケラレト云フコトハ、動モスレバアル、ソレガタメノ堤防デモアリハセヌカト推測ヲ致シマシタコロガ、是亦本會ニ於テ、竝ニ此委員會ニ於テ、軍事當局者ガ説明セラル、所ニ依リマス云フト、軍事ノ部面カラ見レバ、各國防ハ整理シタク、擴張シタク云フ考モ懷クナレドモ、一方財政ノ部面ヨリモ觀察ヲセネバナラヌ、流石ハ我官制ノ示ス所ニ依ッテ、陸海軍大臣ハ陸海軍ノ大中將デアルニ拘ラズ、國務大臣トシテノ考ハ、國務大臣トシテノ考、唯軍事ノ一方デナクシテ、財政ヨリモ觀察セラル、トハ、誠ニ結構ナコトデ、將來モ斯ク相成ルベキコト、始メテ此軍事ノ行政ハ、敢テ陸海軍人ニ限ラヌ、寧ロ文官カラ出シタラ宜カラウト云フコトヲ吾々ハ過去ニ於テ思フタガ、最早未來ハ左様ナ考ヲ持タズトモ宜シ、斯ウ考ヘマス云フト、此點カラ軍事ヨリ壓迫セラル、ガタメニ、之ヲ御主張アルノデアルマイカト云フ推測モ亦本員ノ誤リデアデ、將來ヲ考ヘテ安心スルト、第二ニ又此國債整理基金ヲ置クト云フ必要ガナイト云フコトニナリマス、然ラバ殘リ殘リ何故ニ國債整理基金ヲ置カナケレバナラヌカト云フコトヲ殆ド本員等ハ考出スコトガ出來ナイ、公債ノ價格ハ即チ冒頭ニ説キマシタ如クニ、我國ノ經濟財政ノ事情ハ外國市場ニ明ニナッテ居リマス、其時ニ當ッテ手品ノ如キコトヲシテ、決シテ價格ノ維持ガ出來ヤウト本員等ハ思ハヌノデアリマス、却テ今日以後ノ當局者ハ左様ナコトハセラレヌデアリマセウガ、過去ニ於テハ此公債買入ト云フコトノタメニ却テ世間ノ云々ノ評ヲ招ク如キコトガアリマシタノデス、左様ナコトヲナサヌ方ガ、却テ内外ノ間ニ信用ヲ維持スルデアラウト思ヒマスガ故ニ、此點カラ論シマシテモ、國債整理基金特別會計法案ト云フモノヲ置ク必要ハ又ナイト考ヘマス、然ラバ借金ハ其儘ニ置イテ宜シイカト申シマス云フト、本員等ハ其儘ニ置イテ宜シイコト云フノデハナイ、一方ニ於テ大ニ借金ヲシナガラ一方ニ於テ僅カニ之ヲ返済スルガ如キ姑息ノ手段、而モ其姑息ノ手段ガ只デ往ケバ宜イガ、之ガタメニハ公債發行ノタメニ幾多ノ費用ヲ費サネバナラヌト云フガ如キ無駄ノコトハセヌ方ガ、國家經濟ノ上カラ宜イト本員等ハ考ヘルデアリマス、斯様考ヘマス云フト、今ノ時ニ當ッテ強テ國債整理基金特別會計法案ト云フヤウナモノヲ置クヨリハ、過去ニ遡ッテ見マス云フト、國家ノ歲入歲出ハ常ニ相違フ生ズルト云フコトガ、既往デゴザイマシタガ、斯様ナ場合ニハ幾重ニモ平和ノ道ヲ取ルガ宜カラウ、會計年度ノ末ニ當ッテ金ガ餘ル、ドウシテ隱シタラ宜カラウト云フコトデ、各省分取フスルト云フヤウナ弊モ過去ニアリシコトデ、將來ハ決シテ左様ナルコトヲ當局者ハセラレヌコトデアリマセウケレドモ、左様ナル分取フスルト云フヤウナコトデモ、隨分餘セバ餘セ得ル金ガアルノデアリマスルデ、斯様ナコトノアル度毎ニ隨時償還フスルト云フコトハ是ハ固ヨリ吾々ノ希望デアリマス、ケレドモ特ニ此基金ヲ置ク必要ハ認メナイ、又外國ノ公債ヲ持ッテ居ル債權者ノ側カラ觀察シテ、如何デアルカト云ヘバ、是ハ年々歲々利子ノ支拂サヘ意ヲナケレバ、却ッテ公債ハ償還セラレヌ方ヲ喜ブ位ノコトデアルト思ヒマス、然ラバ今ノ時ニ當ッテ、強テ先二年限ノアルモノヲ、今ヨリシテ此基金ヲ置ク必要ハ、本員等ノ考フルトコロデハ何レノ途カラ考ヘデモアリマセヌガ、故ニ本員ハ此國債整理基金特別會計法案ト云フモノハ、廢案ニ屬スルコトヲ主張致スモノデアリマス

○横田虎彦君 本員ハ贊成ノ意見ヲ短簡ニ申述ベマス、本員ノ考デハ、此減債基金

問題ニ付キマシテハ、殆ド滿場異論ノ無イモノト豫テヨリ覺悟シテ居リマシタ、然ルニ圖ラザリキ一種ノ反對ノ御説ヲ拜聽スルノデアリマスガ、其反對ノ御意見ヲ縷々拜聽致シマスルト、其御意見ヲ聽クニ從ッテ、益々此法律ノ成立ノ必要ナルコトヲ、一層私ハ感ズルノデアリマス、其必要ナル點ニ於キマシテハ、別ニ更メテ喋々ヲ要シナイ、即チ曠古ノ戰爭ニ因リマシテ、我國ハ將二十七億ニ垂ストコロノ借金ヲシテ居タノデアアル、然ラバ此借金ノ始末ヲ如何ナル方法ニシテ辨濟ヲ著ケルカト云フコトハ、何人モ國ヲ憂フル者ハ講究シナケレバナラヌトコロノ、第一著ノ問題デアルト云フコトハ、言フマデモナイゴトデアリマス、唯茲ニ反對ノ意見ヲ拜聽スルノニ、波多野君ノ如キハ非常ナル我國ノ經濟ノ上ニ於テ——財政ノ上ニ於テ、悲觀ナル御議論ヲ御述ベニナツタ、此悲觀ナル議論ト致シマシテハ、甚ダシキニ至ッデハ、今日ノ食物ハドウデアアルカ、明日吾々ノ生命ハドウデアアルカト云フコトマデ、懸念ヲシナケレバナラヌ、又今後四十年以後ノ我國ノ歲出等ノ如キハ、益々増加ヲシテ殆ド四億乃至五億ノ高ニ上ルデアラウ、是ニ反シテ歲入ノ上カラ見ルト、誠ニ僅々タルコロノ増加ヲ見ルト云フコトガ出來ルカハ知レヌケレドモ、四十年ノ後ニ至ッデハ、僅々二億位ノ額シカ上ルコトガ出來ナイト云フコトハ、算數ノ上ニ現ハレテ居ル、斯ノ如キ有様デアアルガ故ニ、今日ニ於テ此借金ノ始末ヲ考フル、暇ガナイト云フコトニ歸着スルノデアリマスガ、私ハ甚ダ其論旨ガ了解ニ苦ムノデアアル、果シテ論者ノ説ノ如ク、我國ノ財政ガ益々茲ニ悲觀ノ有様ヲ來スト云フコトノ憂ガアルト致シマスナラバ、從ッテ此借金ト云フモノヲ、如何ニ支辨スルカト云フコトヲ、第一ニ講究シナケレバナラヌト思フ、一國ノ上ニ於キマシテ、多數ノ借金ガアッデ、サウシテ此借金ノ始末ヲスルト云フコトノ方法ヲ講ゼズシテ、漠然唯隨時ニ時ノ宜シキニ從ッテ償還フスルト云フヤウナ事柄ヲ今日ニ於テ申シテ居ルト云フコトガ、果シテ出來ルデアリマセウカ、或ハ其方法ニ至ッデハ年限ガ長イガ故ニ、此間ニ蹉跌ヲ來ス憂ハナイカ、若シ是ヲ繼續シテヤルト云フコトガ出來ヌヤウナ場合ニ至ッタナラバ此時ニ至ッデハ非常ナル慘憺タル困難ニ陥リハシナイカト云フヤウナ議論モアッタヤウデアリマセウケレドモ、私ハ左様ナ事ヲ今日見出スコトガ出來ナイ、成程茲ニ面前一億一千万ヲ下ラザル公債辨濟基金ヲ取除ケテ置イテ、是ヲ以テヤッデシマハ、是ヲ一時ニ使ッデシマフ、辨濟基金トシテ殘シテ置クト云フコトハ名ノミデアッデ、其實ハ唯胡魔化スト云フコトデアッタナラバ、或ハ其憂ガアルデアリマセウ、假ニ三十五年ノ間ニ此目的ヲ遂行スルコトガ出來ナクシテ或ハ十年ノ間或ハ二十年ノ間ニ已ム得ザル大事ガ到來シテ、是ヲ繼續スルコトガ出來ヌト致シマシテモ、決シテ損ノイカナイ話デアアル、ソレダケヲ實行シ、ソレダケヲ遂行シタト云フコトハ、取モ直サズソレデ以テソレダケノ、即チ減債ノ目的ヲ達シタト云フコトニナル、故ニ私モ此年限ノ長イト云フコトニ付キマシテハ、幾分カ疑ヲ起シテ過日質問致シマシタガ、假ニ年限ガ長イ此間ニ間違ハシマイカト云フ憂ガアッデモ、間違ヲ來シテモ一向損ガナイ故ニ斯様ナコトヲ茲ニ憂慮シテ、以テ辨濟ノ基金ヲ置ク必要ガナイト云フコトノ理由ニハ少シモナラヌノデアリマス、一方ニ歲出ハ段々増加ヲ致シ、一方ニ歲入ガ減少スルト云フコトガアルモノト致シマシタナラバ、尙一層茲ニ、即チ此借金ノ始末ヲ着ケルト云フ方法ヲ豫メ定メテ置クトハ、國ヲ憂ヘ、他日ヲ期スルトコロノ國民ト致シマシテハ、十分ニ其方法ヲ講究シテ置クト云フコトハ當然ナコトデアアル、或ハ又今日ノ財政ノ上ニ於テ、左様ナモノヲ置イ

テ、僅ニ一億一千万位ノ金ヲ置イデモ、當然支拂フベキ利子ト云フモノガ、七八千万アルガ故ニ、其僅カノ金高ヲ以テ減債ニ充テルト云フコトハ、殆ド何等ノ効能ガナイト云フヤウナ御説モゴザイマシタケレドモ、縦令三千万ニ致セ、或ハ五千万ニ致セ、幾分デモ特別ノ方法ヲ以テ減債ノ途ガ着ケラレト云フナラバ、是亦決シテ惡イコトハナシ、本員ノ望ム所ハ、有ラユル歳出、總テノ經費ノ減少ノ出來ルモノハ、是ヲ減少シテ以テ出來得ル限リハ、一億一千万ノモノハ二億モ積シテ、以テ速ニ借金ノ始末ヲ着ケルト云フ方法ヲ、講ズルノガ、寧ロ智者ノ爲スベキ事デアルト考ヘル、又國民トシテ相當竭スベキ道デアルト私ハ信ズルデアアル、又或ハ今日ノ狀態カラ見テ、一方ニ借金ヲシナガラ、一方ニ公債ヲ返スト云フコトハ、トシチシカンデアルト云フヤウナ疑モゴザイマシタケレドモ、是亦少シモ怪ムニ足リナシ、一家ノ經濟ニシテモ一國ノ財政ニシテモ、今日ノ國運ヲ推移、國勢ノ進歩ノ上カラ考ヘテ見レバ、時場合ニ依ッテ、此上公債ヲ募リ、借金ヲスル場合モアル、併シ一方ニ借金ヲスルカラ、既ニ負フタ借金ハ辨濟ノ方法ヲ講ズル必要ガナイト云フトキハ、如何ニ考ヘテモ私ハ其論理ノ在ルトコロヲ解釋スルコトガ出來マセヌ、一方ニ借金ヲスル必要ガアルト云フコトヲ豫期スルナラバ、一方ニ於テ同時ニ是ガ辨濟ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト云フコトハ、多辯ヲ要シナシ、私ハ本案ニ付イテハ、種々議論ガアルト思ヒマシタガ、借金ヲ返ス始末ニ付イテ、假ニ引延バシタコロデ、大藏省ニ納メルモノデナシ、是ダケノモノヲ置イデモ、國家ニ益スル所ガアツデモ損スル所ガナシデアアルカラ、假ニ將來實行ガ出來ナイ場合ガアルシテモ、損ハナシト云フコトデアレバ、茲ニ是ダケノ方法ヲ設ケテ、借金ノ始末ヲ附ケルト云フコトヲ實行ガ、必ズ遂行シ得ルト否ト拘ラズ、出來ルダケノ方法ヲ定メテ置クト云フコトハ、適當ノコトデアルト信ジマスカラ、多辯ヲ要セズ此案ノ成立セシコトヲ希望スルデアリマス

○島田三郎君 大同俱樂部並ニ政交俱樂部ヲ代表シテ謹シテ御宣言ヲ承リマシタガ、總テ數字ヲ離レテ政治論デ、本員ハ長ク聞イテ居リマシタガ誠ニ茲ニ申上ゲ兼ネマヌルケレドモ、皆空論デアルト存ジマス、本員ハ決シテ減債其事ニ付イテ反對スル者デハナイ、勿論借金ノ始末ヲ着ケルトコト同意スルモノデアアル、又公債ノ價格ヲ維持スルコトニモ賛成スルモノデアアルガ、其實ガアルト云フコトニ付イテハ、其事實行明白ニシテ能ク其真相ヲ知ラセルノガ却テ宜シト考ヘマス、此法案ニ依ッテ公債ノ價格ヲ維持シヤウト云フコトハ誤デアアル、若シ自然ノ信用ヲ以テ、公債ノ價格ガ維持ガ出來レバ結構ノコトデアスガ、徒ラニ虛勢ヲ張ッテ、僅ニ價格ヲ維持シテ、是ヲ以テ新ニ公債ヲ募ル下地ノ手段ニ供セントスルコトハ、本員ハ口ヲ極メテ其有害ナルコトヲ說破シナケレバナラヌト考ヘル、本員ハ何故ニ辨濟其物ニ反對セザルニモ拘ラズ、此減債基金法案ニ反對スルカト申シマスル、極ク廉ク——廉ク見積クデモ、本員ノ算定スルところニ據レバ、年々八千萬圓ヲ募テ二千萬圓ヲ償却シナケレバナラヌ算定ナルデアアル、併シ極ク極ク廉ク見積ツタ算定トシテモ、首相ノ明言シタル如ク或ハ陸海兩相ノ明言シタル如ク、次年度ニハ滿韓經營並ニ陸海軍ノ基礎ヲ立テ、要求スルところニ云フ言葉ガ、本員ノ記憶ニ殘ッテ居ル以上ハ、唯今歳入歳出ノ比較シテ見テモ、新ニ何レノ所カラ是ガ財源ヲ求メラル、ノデアリマセウカ、租稅ヲ戰時ノ儘ニ据置イデモ、唯今述ベマシタダケノ不足ノ極ク廉ク見積ツタデアリマスガ、ソレニシテモ矢張新ニ租稅ヲ増ストカ、或ハ非常特別稅ヲ据置

イテ、尙稅率ヲ増ストカ、若クハ新ニ公債ヲ募ラナケレバ、收支ノ上ニ於テ逆モ算用ガ合ハヌト云フコトニナル、故ニ本員ハ事實根柢ヲ議論ニ戻ッテ、茲ニ新ニ種々ナル計畫ヲスルヨリハ、寧ロ財政其物、經濟其物ヲ内外ニ表示シテ、自然ノ信用ヲ増シ、公債ノ價格ヲ維持スルダケニシタイ、是ガ本員ノ希望デアリマス、此希望ニ對シテハ、此借金ノ片ヲ着ケルト云フコトニハ賛成スル者デアアリマセヌガ、強チ増稅モ反對スル譯デアリナイデアリマス、併シ經常費ノ中ヨリ減債基金ヲ積立テルト云フコトニナルナラバ、サウ云フ減債基金ノヤリ方ニ付イテハ、本員ハ賛成スルコトハ出來マセヌ、抑々減債ト云フコトニ付イテハ、豫定シテ示シタ約束ヲ履ミサヘスレバ足レリト信ズルモノデアリマスカラ、茲ニ特別會計ヲ立テルニハ及ビマセヌ、故ニ私ハ假ニ一歩ヲ讓ッテ減債其物ニ同意スルシテモ、經常ノ歳入ヲ節減シテ、減債ノ基金ニ充テルト云フコトニハ同意ガ出來兼ネルデアアル、唯今ノ基金ノ建方ハ、一方ニハ八千萬以上ヲ募ラナケレバナラヌ、而シテ一方ニハ二千万以上ノ償却ヲスルところニ云フコトデアリマスカラ、假令名ハ減債ト稱シテモ、其實ハ増稅増債ト云フコトニナルデアラウト思フ、若シ此ノ如キ方法ニ據レバ、六千万圓ノ公債ヲ八、九年ノ間ニ増スコトニナル、是デハ兩方ノ目的ハ達セラレナイ、即チ第一借金ノ始末ヲ着ケルト宣言シタコトガ、空論ニ歸シテシマフモノナラズ、公債ノ價格ヲ維持シ、信用ヲ保ツト云フコトモ、空論ニ歸スルコト斷言スル、而シテ一方ニ於テ募集シ、一方ニ於テ返済スルナラバ、手續ノ相反シタコトヲ國民ニ示シ、又其實行ガ期セラレナイタメニ害ガアルト思ヒマス、即チ相反手續ヲ續スルタメニ、害ガアルト云フモノハ、其一ハ誤ッテ過大ノ信用ヲ措クコトガ眼前ノ利デアアルガ、明年ヨリハ忽チ害ヲ生ズル、其上ニ附帶ノ害ヲ申シマスレバ、手數料ヲ取ラレル、雜費ガ掛カルデアアルカラ、斯ウ云フ煩難ナル借金ノ始末ノ仕方ハ、唯今ノ豫算ノ上デモ、八、九年ノ後ニハ六千万圓ノ公債ヲ増スコトニナル、本員ハ何故ニ減債ノ名ヲ以テ左様ノ事ヲセラル、ノカ、是ガ了解ニ苦シムデアアル、本員ノ窃ニ考フル所ニ依レバ、試ニ其實行ヲ申シテ見マスル、確ニ年々公債ノ償却スルところニ見込ガ立チマスレバ、即座ニ元金ヲ返ス、整理ガ着カクトモ、利息サヘ拂ヘバ貸手ニ對スル公債ノ信用ヲ破ルコトハナシ、外國ノ市場ニ於テ貸手ノ得ル利子ハ、廉クテ却テ日本ノ公債ノ利子ノ方が高イデアアルカラ、外國人ハ日本カラ公債ノ元金ヲ返サル、ヨリモ、確ニ年々利子が取ルコトガ出來テ、何年カノ後ニハ元金モ拂ハレト云フ信用ヲ持チサヘスレバ、歐羅巴ノ貸手ハ日本ノ借手ニ貸シタ方が掛念ハナイデアアルカラ、強チ是ノ如キ手品ノヤウナ方法ヲ以テ信用ヲ維持シ、減債ノ方法トスルコトヲ世ノ中ニ示ス必要ハナシ、尙此外ニ本員ハ考ヘマスル、此法案ハ信用ヲ維持スルコトヲ目的ヲ誤ルモノデアアル、若シ露西亞ノ如キ國デアッテ、財政ノ事情ガ世ノ中ニ示サレナイ國デアアルナラバ、一方ニ於テ減債ノ法案ヲ立テ、歳入カラ此ノ如ク公債ヲ返スト云フヤウナ、形ヲ示サナイデモ濟ミマセウカ、是ニ反シテ吾日本ノ如キ立憲政體ノ國ニ於テハ、歳入歳出殘ラズ示ガタメニ、宛モ硝子窓ノ外ヨリ室内ヲ窺フヤウナ形勢ノところデアリマスカラ、八千万ヲ募ッテ二千万ヲ拂フト云フ事實ハ、蔽ハントシテ蔽フベカラザルコトデアリマス、シテ見レバ此法案ハ吾ガ觀テサヘ信用ヲ高ムルニ足ラヌト信ズル所デアリマスガ、一層利害ノ關係ナル外國ノ貸手ガ、吾々、ヨリ以上ノ信用ヲ此組立ノ上ニ置クト云フコトハ、推測サレヌデアリマス、世界ノ金貸ヲ左様ニ愚鈍ナル者ト見做スト云フコトハ、大ニ

見誤タル所ノ見解デアルト思フ、是ニ反シテ斯ノ如キ方法ガ立ッテ居ルカラ、非常ニ日本ノ財政ガ豊カデアルト思フ、彼ハ貸サント欲スルガタメニ貸スト云フコトデアレバ、愈々ニ、多クノ借金ヲサスルト同ジコトデ、幾年カノ後ニハ非常ナル事ガ、起ッテ一時ニ是マデノ信用ヲ失ヒ、是マデ誤ッテ繋イダルトコロノ信用ヲ一時ニ減ズルコトニナッタナラバ、其反動ヤタル實ニ恐ベキモノトナルト思ヒマス、ソレ故ニ若シ信用ヲ過大ニスルト云フ目的ヲ達シタナラバ、即チ借リルノ便宜ガアレバ後來ニ恐レベキ害ヲ遺ス、此端着手手段ガ、若シ信用ヲ得ルノ目的ヲ達スルコトガ出來ルトスレバ晚クトモ早クトモ其目的ヲ誤ル、ソレヨリハ明ラサマニ日本ノ財政ハ斯ノ如キモノデアアル、例ヘバ戰時特別稅ノ如キハ總額ニ於テ減ズルコトハ出來ナイ、併シ是マデノ收入ハ増シタノダカラ、適當ノ行政ニ必要ナ此國ニ必要ナモノハ使ッテ其内ノ一部分ヲ以テ國債ノ償還ニ充テルト云フ表ヲ作ッテ、是ヲ内外ニ示シタナラバ、必ズ其ノ天然ノ信用ハ保ツコトガ出來ヤウト思フ、併ナカラ怠慢ナル政府ノ爲ストコロデアルカラ、行政ノ整理モ、軍備ノ擴張モ、過日陸海軍大臣モ述ベラレタガ、財政ト相伴フ程度ニ止メルト云フコトハ、今日カラ其覺悟ヲ以テセラレタナラバ、ソレ程ニ財政モ膨脹スルコトモナカラウト私ハ思フデアリマス、親切ナル考ヲ以テ、今日カラ斯ノ如キ姑息ナ法案ヲ通過スルコトニハ反對ヲスル、財政ノ健全ヲ期シ、竝ニ當局者ノ他日ノ害ヲ爲スコトヲ防カンガタメニ、私ハ此法案ニ反對ヲスルデアリマス、蓋シ當局者竝ニ内閣ノ人々ハ、外國ニ公債ヲ募ル必要ガアルカラ、事實ヨリ以上ノ信用ヲ保チタイタメニ、斯ノ如キ案ヲ望ムト云フナラバ、本員ハ其主義ニ於テ大ニ反對ヲ唱ケレバナラヌ、人爲ヲ以テ公債ヲ募リ易カラシメ、是ニ依ッテ公債ノ高ヲ増サントスルナラバ、他日其公債ノ元利ノ償却ヲナスニ増稅々々戰時ノ特別稅ヲ繼續スルヤ否ヤ位ノコトデハナク、アレヨリモ以上若干ノ増稅ヲモ期サナケレバナラヌト云フヤウナ、困難ノ地ニ陥ルト云フコトハ、實ニ恐レベキコトデアルト本員ハ思フ、此理由ヲ以テ本案ノ通過セザランコトヲ本員ハ望ムデアリマス、戰時ハ餘義ナクシテ國家存亡ノ秋デアアルガタメニ、餘義ナイコトデアアルガ、平和克復ノ曉ニ於テモ、尙コノ變通ノ財政ヲ保ツト云フコトハ、大ニ危險ナルガタメニ、減債法ノ名アッテ、其實増債法ノ實トナルベキ本案ニハ、反對ヲ致シマス

(採決々々ノ聲起ル)

○改野耕三君 本案ハ重大ナ問題デアリマスカラ 本日ハ十分ニ議論ヲ盡シタ積リデアリマス、最早討論モ盡キタト思ヒマスカラ 採決アランコトヲ望ミマス、

○委員長長谷場純孝君 今改野君ノ發議ノ通採決ヲシテモ、モウ宜カラウト思ヒマスガ如何デスカ

(モウ宜シイ「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 採決ヲ致シマス、此決ハ氏名點呼ヲ以テ表シヤウト思ヒマス、是ヨリ氏名點呼ヲ始メマス、賛成ノ人ハ賛成、反對ノ人ハ反對ト言ウテ下サイ

(書記氏名ヲ點呼ス)

○委員長長谷場純孝君 採決ノ結果ヲ御報告致シマス、出席總數ガ委員長ヲ除イテ三十一人、其中賛成者ガ十八名、反對者ガ十三名、故ニ過半數ヲ以テ原案ヲ賛成ト云フコトニ決シマス、引續キマシテ非常特別法中改正法律案、此討論ニ移リマス

(「一讀會ヲ片付ケテカラ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 委員會デハ是デ確定議ト御認メナラバ、確定シタモノト見テ宜イト思ヒマスガ

(省略確定ト呼フ者アリ)

○荒川五郎君 此法律ハ抗議ヲシテ居ルトコロガアル、法律ハ抗議ハ要ラヌ、或ハ本特別會計ト云フ文字ヲ使ヒ、或ハ國債整理基金特別會計トカ文字モ一定シテナイ、茲ニ一々議スルニハ及ビマスマイ、成ベク法文トシテ體裁ヲ爲スヤウ一定セラレンコトヲ希望致シマス

(「委員長ニ」任「ト呼フ者アリ」)

○委員長長谷場純孝君 今宣告ヲ致シマスガ、今ノヤウナ御議論ガ有リマスレバ、一讀會ヲ開クカドウカハ後ト決シマス、非常特別稅法中改正法律案ヲ討論ニ附シマス

○淺野陽吉君 戰時稅ノ討論ニ付イテ動議ヲ出シマス、今日減債基金ノ質問ヲ終リマシタデアリマスガ、戰時稅ノ質問ハ斯ク二回デアッテ、本員ハマダ言ハント欲スルトコロガアル、ソレデ此事ノ討論ダケハ、委員會ノ内情ハ既ニ大抵見ヘテ居ルカ知レナイガ、慎重ノ態度ヲ保ツタメニ、次ノ會ニ延バシテ戴キタイ

○委員長長谷場純孝君 淺野君ノ御發議ニハ御賛成ガ無イヤウデスカ……

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 賛成者ガ有リマスレバ採決致シマス、淺野君ノ說即チ非常特別稅法中改正法律案ノ討論ハ後日ニ延バシタイト云フ、御意見ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長長谷場純孝君 少數デアリマス、故ニ委員長ノ先キノ宣告ノ通此討論ニ移リマス

○島田三郎君 本員ハ全部反對デゴザイマス、今年ノ十二月三十一日マデニ引續キマス一億六千万ノ臨時特別稅ハ、簡單ナル前後ノ文章ノ變化ニ依ッテ、無期限ニ引續クト云フコトハ、信義ニ於テモ法律全體ノ改正ノ形式ニ於テモ、宜シクナイト云フ斯ウ云フ意味カラ反對致シマス、反對ヲ致スニ付キマシテハ、此コトハ如何ナル結果ヲ生ズルカト云フ説明ガ必要デアルト思ヒマス、第一ニ西園寺内閣ハ國民ニ向ッテ一致ヲ求メ、精神ヲ披瀝シテ戰役ノ覺悟ヲ戰時ノ如クニ求メルト云フコトガ、内閣宣告ノ骨子ト思ッテ居ル、或ハ政友會ノ大會ニ於テ、或ハ議會ノ演說ニ於テ承ツタ、其大要ヲ觀察致シマス、施政ノ方針ト云フヤウナ事實ノ言語ヲ承ハラズシテ、精神ノ宣告デアッタ、舉國一致ヲ要求セル、宣告ト本員ハ理會シテ居ル、付イテハ政府ガ此要求ヲ國民ニ向ッテ爲スナラバ、先ツ國民ニ向ッテ、政府ヨリ精神ヲ披瀝シテ、國民ノ同情ヲ買フコトガ政事上ニ於テ第一義デアルト理會致シマス、斯ク考ヘマシテ此法案ヲ觀察致シマスルト、名稱ノ示ス如ク、臨時特別稅デゴザイマス、此臨時特別稅ヲ議シマスルトキノ國民ノ意氣ハ如何ナルモノデアッタカト申シマス、國ノ安危存亡ニ關スル無前ノ國難デアアルガ故ニ、忠勇ナル精神ヲ以テ屈服シタノデアッテ、其簡條ニ付イテ考ラ下シマシタナラバ、屢々議會ノ解

散ヲサレテ、政界ノ動搖ヲ致シタノハ、何ノ問題ナルカト云フ、地租ノ増加ノ一事ニ於テ屢々議會ノ解散ヲ賭スル程ノ動搖ヲ全國ニ與ヘタコトヲ考ヘマス、地租ノ初トシテ總額一億六千万ノ増加ヲ爲スニ、國民ガ沈黙シテ是ヲ出シタト云フハ、何ガ根柢ノ精神デアッタカト云フト、愛スル所ノ子弟ヲ戰場ニ出スモ、勇マシク先祖ヨリ持傳ヘタ、己レノ生活ニ影響スル所ノ資産モ、矢張此國難ノタメニ捧ゲルト云フ精神ヲ以テ、衆議院モ國民ノ意ヲ體シテ議決シタノデアアル、其間ニ於テモ、尙本員等如キハ餘リノ惡稅、此ノ如キ煩苛瑣細ノ惡稅ヲ忍バズトモ、尙他ニ方法アリトシテ、少數ニ拘ハラズ政友會並ニ憲政本黨ノ御方ニ、忠厚ナル精神ヲ以テ屈服セラレタニ拘ラス、本員ハ公義ノ精神ヲ以テ批難シタノデアアル、戰時尙此ノ如キ精神ヲ持テ居リマスカラ、戰後ノ今日ニ至ッテ、何時ニデモ是ノ如キ惡稅ヲ止メテ置クコトハ本員ノ本心ノ許サザル所デアルト決心シテ居リマス、此感ヲ懷イテ居ル者ハ、此會場ノ委員中ニハ少數デアッテ、唯今減債基金法案ハ五名ノ少數ヲ以テ破レマシタガ、併シナガラ國內五千萬中ニハ、本員ト同感ノ者多數ナリト本員ハ確信スルガ故ニ、少數ニ拘ハラズ本員ノ力ノ續ク限リ反對スルノデアリマス、是ノ如キ精神ヲ以テ是ヲ議決シタモノデアッテ、其時ノ諸事ハ如何デアッタカ、戰時特別稅ト云フ題目ニ表シテアル如ク、戰ヒガ止メバ免除セラレ、ノデアルト云フ希望ヲ以テ、此法律ヲ可決シタノデアッテ、是ノ說明シタル政府委員モ、是ヲ可決シタコトヲ貴衆兩院モ、是ノ如ク希望シテ、此法律ヲ可決シタニ違ヒナイ、尙衆議院ノ修正ニ依ッテ期限ヲ確定シテ、是ヲ明記シタトキニハ、愈々此精神ガ文字ノ上ニ現ハレタノデアリマス、然ラバ今日戰後平和克復スルニ當ッテハ、前ノ希望ヲ空シクセズ、前ノ精神ヲ發揚セシムルタメニ、信約ハ堅ク守ルガ、政府ガ舉國一致ヲ求ムルノ第一義デアルト思フ、若シ物質的ニ付イテ比較スレバ、日本ノ戰争ノ準備ハ、決シテ露國ニ及バナカッタ、其人數機械等物質的ノコトハ我、彼ニ及バザルニ拘ハラズ、唯精神ノ發揚ニ依ッテ、日本ガ強大ノ露國ヲ破ツタコトヲ見タナラバ、國民ノ精神ニ對シテ、無限ノ尊敬ヲ拂フト云フコトハ、施政者ノ德義デハナイカト私ハ思フ、且又前ニモ申シマシタ通、財政ニ對シテモ非常ノ非運ニ陥リ、臨時事件費ノ支出トカ、非常特別稅ヲ繼續シナケレバナラヌト云フ、斯ノ如キ困難ノ位置ニ陷ツタノハ、何ガ原因デアラルカト云フト、前内閣ガ外交ノコトヲ誤リ、彼ノ「ボーツマス」ノ談判場裏ニ於テ、露國ノ全權ガ「コベーク」モ拂ハズシテ、平和ヲ得タリト云ッテ、欣ヲ以テ笑ヲ以テ引揚ゲタ、其失敗ノタメニ戰時ニ於テ熱誠ヲ捧ゲタル國民ハ一億六千万圓ノ負擔ヲ負ハセラル、ト云フコトニナツタノデアアル、政府者タルモノハ、先以テ國民ノ前ニ誠意ヲ以テ謝シ、後ノ失敗ニ對シテ大ニ懺謝シナケレバナラヌ、故ニ此繼續ヲ以テ、吾々ハ重大ナル法案デアルト思ッテ、ソレ故ニ前日此會ニ於テ簡單ナル法案デアルカラ、直チニ說明スルト云フ大藏大臣ノ形式ノ說明ニ向ッテ、本員ハ唯今ノ精神ヲ以テ鄭重ニ嚴肅ニ、政府ノ說明ヲ要スルト云ツタハ此譯デアアル、此精神ヲ以テ本員ハ此案ニ反對スルノデアアル、其反對ヲスルト云フコトハ、政府ニ必要ナル、トコロノ費用ヲ拒ムト云フ、妨害的精神ヲ以テ反對ヲスルト、斯ク議院ヲ加ヘル人ガアルカモ知レヌカラ、豫メ斯ノ如キ斷論ヲ辯破シテ置ク必要ガアルト思フ、本員ハ唯今申シタ如ク、前内閣ハ戰前ニ於テハ隨分不人望デアッタガ、戰ガ開ケテカラ國民ハ政府ノ爲スコト、シテ應ジナイコトハナカッタ、ソレハ内閣ニ人望アルニアラズシテ、我國民ガ國難ニ應ズルノ心

深キガ故デアッタノデアアル、然ル以上ハ内閣ニ於テモ、是クノ如キ計畫、是ノ如キ財政ノ有様デアルト云フコトヲ、立派ニ基礎ヲ立ッテ國民ニ求メ、以テ此繼續ヲスルヨリ致方ガ無イト云フ事實ヲ以テ、吾々ヲ感服サセナケレバナラヌ、斯クシタナラバ國民モ亦衆議院應ジテ感服シ、喜ンデ租稅ノ徵收ニ應ズルト思フ、不幸ニシテ内閣ハ此舉ニ出デズ、概シテ戰後ノ經營ハ唯今考案中研究中デアルト、斯クニハル、ニ拘ラス、租稅タケハ期限ノ盡キザルニ先ダチ、是ガ繼續ヲ國民ニ強ユルト云フコトニ至ッテハ、内閣タルモノ國民ニ對シ不誠意ニシテ、國民ニ誠意ヲ強ユルモノデアアル、是ヲシモ忍シテ決議ヲスルト云フニ至ッテハ、衆議院トシテモ亦國家ニ忠實ナル職分ニナイト思フ、斯ノ如キ事ヲ敢テ爲ス以上ハ、内閣ハ動搖ヲ來シ、國民ハ失望ヲ爲スト云フコトニ至ルハ當然ノ事デアルト思フ、代議政體ノ根本ハ租稅ニ關シテハ、支出ヲ確定シテ收入是ニ應ズルコトニシテ、承諾ヲ求ムルガ代議政體ニ於ケル財政ノ本則デアアル、然ル以上ハ其根柢ヲ定メ、其理由ニ至ッテモ先刻大藏大臣ノ說明ニシテ、是デコソ財政ノ基礎ヲシテ確乎タル柱石ノ上ニ置クト云フコトヲ明カニシテ、以テ吾々ヲ心服セシメタナラバ、直接租稅ヲ拂フ五千万ノ國民モ亦心服スルデアリマセウ、然ルニ是ヲ爲サズシテ、一片多數少數ノ差ニ依ッテ、是ヲ決定スルハ、決シテ政治ヲシテ代議政體ノ根柢ノ上ニ立タシムル忠實ノモノデアナイト思フ、其故ヲ以テ反對ヲスルノデアアル、反對ヲシテ如何ナル結果ニナルト云ヘバ、本年ノ三月二十日迄ハ、法律ノ効力ガ引續クノデアリマスカラ、是ニ依ッテ政府委員ノ說明ニ依レバ、一億五千万圓取レルト云フ會計デアアル、此金額ヲ以テ來年度ノ費用ヲ維持スル力ガアルト思フ、而シテ其差ト云フモノハ五十六百万圓ニ過ギナイ、五十六百万圓ノ差デアルトスルト、是迄政府ハ已得ナイト云フコトデ、臨時ニ流用シタ手腕ハ幾ラモアルノデ、大藏證券ヲ發行スルナリ、借入金ヲスルナリ、五六百万圓ノタメニ國民ノ精神ニ一大影響ヲ與ヘルト云フ、不信義ヲ政府ニ行フセルニ至ッテハ、本員ハ飽迄反對デアアル、依ッテ本案ニ對シテハ實際最早定論モ世間ニアルコトデスカラ、新ニ調査スルト云フコトデナクシテ、技能アル熟練ナル大藏ノ當局者トシテ、世論ノ趣ク所ヲ取捨シ、本年十一月若クハモウ少シ早ク開ク例モアルノデ、來期ノ通常會ヲ待ッテ、慎重ニ議スルコトニスルガ適當ノ處置ト思フ、若シ三月三十一日迄ニ豫定ヨリ多分ノ差ガ出ラナラバ、唯今申シタ手腕ヲ振ッテ臨時借入ヲ爲シ、決算ノ時ニ收支相償ハシテモ、決シテ整理上差支ナイデアラウト思フ、何ヲ若シ當局者ハ一箇年ノ間ニハ調査委員會ヲ組織シテ出スト云フ附帶條件ノ下ニ此重大問題ヲ決議サセントスルカ、本員ノ了解ニ苦ム所デアアル、若シ確然タル基礎ノ下ニ立ッベキハ立デ、起スベキハ起スト云フヤウニ、公明正大ナル精神ヲ以テ在マナカッタナラバ、我國民ハ事ニ應ズマイト思フ、彼ノ戰時ニ際シ、喜ンデ親ハ子ヲ戰場ニ送ッテ、此忠勇無比ナル我日本國民ニ向ヒテ、何ガ故ニ商人ガ廉キ時ニ買込シテ置キ高キ、時ニ賣ルト云フヤウナ、淺薄ナル姑息ナル手段ヲ以テ、重大ナル案ヲ定メテ、是ガ負擔ヲ爲サシメントスルカ、中ニハ天下舉ッテ惡稅ナリト云ッテ居ルモノモ此中ニ含マレテ居ル、此繼續案ニハ、本員ハ飽迄モ反對デアアル、故ニ此持論ヲ天下ニ訴ヘ、以テ西園寺内閣ノ鼎ノ輕重ヲトセント覺悟シテ居ルノデアアル

○角田眞平君 先刻議案全部確定ニナツタト思ッテ居ル、ソレ故ニ事ノ順序カラ麥リマスルト云フト、此議案ニハ島田君ノヤウナ反對ノ說ニ付イテ、御結了ニナツタ後ニ、一條

ト十七條ノ削除ト云フ此案ニ付イテ第二次會ノ動議ガアルカモ知レナイ、若シサウニ云フ事ガゴザイマスレバ、此場合ニ於テ其時ヲ待チマス、サウニ云フコトガゴザイマセウケレバ、些少ノ修正ガゴザイマスルノデ、此場合表明致シテ委員長ノ御採決ノ順序ハ然ルベク御取計ヲ願ヒタイ、何レニ致シテ宜ウゴザイマセウ

○委員長長谷場純孝君 荒川君カラモ御説明モゴザイマシタカラ、此所テ確定ト云フ聲モ起リマシタケレドモ、先ヅソレデハ非常特別稅法中ノ唯今討議ノモノヲ確定シテ置イテ、前二第一讀會テ決セラレタ國債整理基金特別會計法案ノ確定ハ、後ト廻シニシヤウト云フコトヲ宣告シテ置キマシタ、此場合御述べニナッテモ宜カラウト思ヒマス

○角田眞平君 非常特別稅ニ付イテノ修正ノ意見ヲ此場合述べテモ善イカ惡ルイカト云フコトヲ御尋スル、今島田君ハ總體ニ付イテ言ハレタガ私ハ修正ヲ……

○委員長長谷場純孝君 併シ總體ニ付イテハ所謂贊否ニ付イテノ議論ガ他ニゴザイマスナラバ、ソレカラ承ッテ置イテ、而シテ又之ニ修正ヲ加ヘタイト云フ御議論ガアルナラバ、其後ニ承リタイト思フ、差支アリマキヌケレドモ、若シ外ニ御議論ガアルナラバ、贊否ノ總體ノ議論ヲ先キニシタイト思フ

(島田君ニ贊成ハ無イト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 無ケレバ御修正說ヲ提出ニナッテ宜ウゴザイマス

○角田眞平君 極ク概略ヲ申上ゲマス、即チ「非常特別稅法中ノ左ノ通改正ス第一條削除、第二十七條削除」是ガ原案デゴザイマス、私共ノ考モ今島田君ノ演說ヲセラレマシタ如ク、根柢カラ此案ニハ反對デゴザイマシタノデ彼ノ通勿卒ノ際ニ一億六千萬圓ノ稅ヲ急ニ増加スルト云フコトニ付イテハ、之ヲ御約束通り……スルノデアル、サウシテ別ニ租稅ヲ取ル、案ヲ御出シニナル、斯ウ待設ケテ居リマシタ、又サウナケレバナラヌコト、信シテ居ッタ、然ルニ急ニ此二條ヲ削除セラレテ、之ガ永久稅トナッテニ付イテハ實ニ一驚ヲ喫シタ、サリナガラ此事ヲ成シ遂ゲル上ニ付イテハ、即チ島田君ノ說ヲシテ成シ遂ゲル上ニ付イテハ、立法者ノ言ハ一向役ニ立タヌ、稅ヲ取ル方ノ側デスル積デナケレバ、支出ノ上ニ付イテ行ハレヌ、果シテサウデゴザイマスレバ、千万圓以下ノ金ヲ借りテ道線リハ道線ルトシテモ、一方ニハ三十九年度ノ豫算ヲ受取ルカラ、其中ニハ由々敷大事ノモノガ含マレタル支出ノ金ガ多分ニ載ッテ居リマス、其故ニ之ニ應スルトコロノ「パランス」ヲ得ヤウトスルノニハ確實ニ這入ッテ來ルモノダケハ極メテ置カヌト、吾々ノ職責ノ上ニ於テ如何デアラウカト云フノガ吾々が遺憾ナガラ此案ニ反對スルト云フコトヲ主張スル理由デ、ソレ故ニ斯ウ云フ意味テ改正シヤウ「第一條削除」ト云フ文字ノゴザイマスノヲ、是ハ全部削除スル、即チ「第一條削除」ト云フ五字ヲ削除スル「第二十七條」ト云フハ、第二十七條ハ、左ノ如ク改ム「本法ハ明治四十年三月三十一日限廢止ス」吾々ハ今三十九年度ノ豫算ヲ受取ッテ、四十年度ノ豫算ハ出ヤウ譯ガナイ、然モ四十年度カラ先キノコトニ付イテハ御議論モアリマスガ、今報告スル場合デナイト云ッテ説明セラレテ居ル、殊ニ政府ハ前政府ノ後ヲ襲フテ、此案ヲ御出シニナッタ上ニ付イテハ急ナ場合デゴザイマスカラ、御推察スル事情ガアラウト思フカラ、一年ト云フモノニ付イテハ異議ナク之ヲ延バシテ御取リニナルコトノ餘地ヲ與ヘタナラバ、次ノ年度マデニハ必ズ徵稅ノ法、及稅制整理等ニ付イテモ詳シク御調査ニナッテ御諮リニナルコト

ト信シテ疑ヒマセヌ、此意味ヲ以テ次ノ年度ニ於テ大ニ政府ト討論講究シテ、相當ノ稅ヲ取ルト云フコトヲ爲サンタメニ、二箇月ノ間ハ此法律ノ改正ヲ延バスト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ、吾々ノ意見デ、乃チ斯ノ如キ修正動議ヲ出シマスカラ、委員長ガ御採決ノ場合ニ御報告ヲ願ヒタイ

○委員長長谷場純孝君 念ノタメ角田君ニ伺ヒマスガ、即チ本法ノ第一條ニ「臨時事件ニ因リ生ジタル經費ヲ支辨スルタメ本法ニ依リ租稅ヲ増徴シ若クハ賦課シ又ハ印紙ヲ増貼シ若クハ貼用セシム」トアル、是ハ此儘ニ存シテ置カウ、サウシテ「本法ハ明治四十年三月三十一日限廢止ス」斯ウシヤウト云フノデスカ

○角田眞平君 サウデス

○改野耕三君 私ハ本案ニ對シテ、今日ノ國情ニ照シテ已ムヲ得ズ贊成スルモノデアリマス、決シテ此案ヲ喜ンデ贊成スルモノデハナイノデアル、已ムヲ得ナイノデアル、元ト此法律ノ制定ノ場合ニハ、即チ平和克復後ニハ必ズ復舊スルト云フ精神ヲ以テ協贊ヲ與ヘタモノデアル、其精神ハ唯今島田君ガ述べラルル如ク、此戰勝ノ結果トシテ必ズヤ多大ナル償金ヲ得ル見込ガアッタノデアル、サスレバ公債ノ償却ハ無論此増稅等モ必ズ復舊スル見込ガアリマシタガ、甚タ遺憾ナ事ニハ、外交ノ失敗ノタメ、三文ノ償金モ取ラズニ條約ヲ結ビシタト云フ有様デアル、サスレバ事、志ト違ウテ來タノデアッテ今日ハ實ニ已ムヲ得ナイノデアル、即チ戰爭ノタメニ多額ノ公債ヲ募リ、其上ニ恩給トカ年金トカ避ケベカラザル國家ノ義務ヲ生ジタノデアリマス、其故ニ此案ニ付キマシテハ已ムヲ得ズ贊成致スヨリ外仕方ガナイノデアル、併シ此特別増稅ノ中ニハ世ノ中デ惡稅ト稱セルモノモアリマセウ、又不完全ナルモノモアリマセウガ、先刻來大藏大臣ノ述べラルル如ク、此案ニ付キマシテハ即チ財政ノ調査員ヲ設ケテ、ソウシテ完全ニ調査シタ末ニ廢止スベキモノハ廢止シ、低減スベキモノハ低減スルト云フコトデアリマスカラ、暫ク調査ニ委ネテ十分ノ調査ヲ遂ゲテ見タイト思ヒマス、其調査ノ結果ヲ見タラ宜イノデスカラ、私ハ今日ノ國情ニ照シテ已ムヲ得ズ、本案ニ贊成セザラル得ナイ場合ト思ヒマスカラ此事ヲ一言致シマス

○淺野陽吉君 私ハ島田君ノ說ニ贊成ノ意ト、唯今ノ改野君ノ說竝ニ角田君ノ說ニ反對ノ趣意ヲ述ベル積デアリマス、現内閣ノ成立チマスル時ニ考ヘマシタノハ、餘程前内閣ニ比較スレバ、是ハ立憲政治ノタメニ賀スベキ内閣デアルト、斯様ニ思ッタノデアリマス、ソレト同時ニ申迄モナク國民ノ非常ナ愛國心ニ訴ヘテ、一時已ムヲ得ズ急速ノ際ニ作ツタ戰役稅ノ繼續案ノ如キモノヲ、將來ノ財政計畫ヲモ定メズシテ、國民ノ過重ノ負擔トナル、收入案ノミヲ永續ノ出サウト云フヤウナ案ヲ組立テハシマイデアラウ、ト斯ウ思ッタノデアリマス、豈圖ンヤ現内閣ハ前内閣ノ政策ヲ踏襲シテ終ニ此處ニ戰稅繼續案ヲ出サレルトニナッタ、其本ヲ正セバ、其意ノ諒トスルトコロハ多少ハアルト思ヒマス、此「ボーツマス」ノ外交談判ハ失敗ニ終ッテ結果、終ニ國民ニ對シテモ、斯様ナ案ヲ目ノ前ニ出サネバナラヌト云フ現内閣ノ境遇ニ陷ッタノデアラウト信ジマスノミナラズ、政友會トシテ是ニ向ッテ贊成ノ意ヲ唯今改野君ガ表サレタノハ、所謂政友會ヲ代表セラレタ議論ト見テ居リマス、其趣意ニ依リマスレバ、已ムヲ得ズ是ニ向ッテ贊成ノ意ヲ表シテ、往クノハ其調査ノ結果、改廢ヲシヤウト云フ趣意デアル、其御精神ハ私ハ國民ノ一

人トシテ、又議員ノ一人トシテ、其意ヲ諒トスルノデアリマス、是モ亦政友會トシテ已ム
ヲ得ザルコトデアラウト思ヒマスケレドモ、獨リ此憲政本黨ノ角田君ノ意見ニ至ラデハ、其
意ヲ得ヌト思ヒマス、深ク論ズル必要ハナカラウト思ヒマスガ、元ト平和克復後滿一箇
年間ト云フモノハ、繼續スルト云フ精神デアデ、サウシテ是ガ内閣ニ通セラレテ、出來タ
案ト私ハ解釋シテ、其當時憲政本黨ノ方々ニハ感謝ノ意ヲ表シタデアリマス、ソレナラ
バモウ少シ法律上ノ德義ヲ守ッタ方ガ、政黨トシテモ、亦立憲政治トシテモ、私ハ宜クハ
ナイカト思ヒマス、差引勘定金ノ勘定ハドウナルカト勘定スレバ、一億六千萬ノ戰時
稅ノ總額ノ中カラ僅カニ一千萬圓ノモノデアリマス、ソレハ今又角田君ノ說ニ依レバ、吾々
ハ三十九年度ノ豫算案ヲ既ニ受取ッテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、無論受取ッテ居
リマスガ、豫算ノ確定ハ未ダ衆議院デハ出來テ居ナイ、又未ダ豫算ノ調査會モ終結ヲ
告ゲテ居ラナイ、其前ニ當ッテ此會トシテ豫算云云ト云フコトニ向ッテ、斟酌ヲ加ヘル必
要ハナイト思ヒマス、ソレ故ニ成ルベク衆議院トシテハ、立憲政治ノ正道ヲ履ンデ、僅ニ
一千万圓ヲ如何ト云フコトナラバ、是ハ融通ハ私ハ附カナイコトハナイ、豫算ハマダ確定
セズ、我々ハ豫算ニ向ッテ如何ナル修正ノ案モ出シ得ラルル時期デゴザイマス、モウ少シ
國家ト國民トノ間ニアッタ公約公德ハ之ヲ重シテ、此案ノ議ニ當ッテ、豫算ノ確定シ
ナイ前ニ苦勞ヲシテ、斟酌スルコトヲ止メテ、正則ノ道ヲ履ンデ往クノガ、私ハ却テ憲
政本黨ノ案ニ得策デハナカラウカト斯様ニ思ヒマス、左様ナ一千万圓ノ案ニ、茲ニ事々
シク修正案ヲ出サレルト云フコトハ、私等ハ本黨ノ案ニ取ラザルトコト思ヒマス、ソレ
故ニ國民ノ愛國心ニ訴ヘテ、勿卒ノ間ニシテ戰稅ヲ今更將來ノ財政方針ヲ確定スルコ
トガ見込ガ立タナイ今日ニ於テ、獨リ國民ノ負擔トナルベキ收入案ノ根本ノミヲ永續的
性質ノモノニ變更セシムルト云フコトハ、餘リ甚シイリ口デハナイカト私ハ信ズルノデアリ
マス、願クバ此法律ノ廢止若クハ改正ハ尙一回ノ議會ヲ剩シテ居ルノデアリマスカラ、
ソレマデニ内閣ノ當局者ノ御方ガ言ハル通りニ、必ズ戰後ノ經營ノ方針ハ立ツコトデア
ラウト思ヒマス、戰後ノ方針、戰後ノ財政ノ方針ガ立ツタナラバ、其内容ヲ示スト同時
ニ、此案ヲ提出サレタナラバ宜カラウ、斯様ニ思ヒマス、願クバ立憲政治ノ本道ヲ履ン
デ、一度國家非常ノ際ニ國民ノ愛國心ニ訴ヘテ起シタ此稅ノ處分ト云フモノハ、將來
ノ計畫ノ方針ト共ニ發案サレノガ、私ハ内閣トシテモ德義デアルト斯様ニ解釋ヲ致シ
マス、願クバ其時期ニ至ッテ吾々モ此案ヲ受取ッタナラバ、喜ンデ議スルコトデアラウト思
ヒマスガ、豈圖ンヤ將來ノコトガ一トシテ分ラナイト云フ際ニ當ッテ、此案ノミガ要領ヲ
得テ出來タデアリマス、是ハ甚ダ國家ノ案ニ憂フベキコトデアリマス、之ヲ能ク煎ジ
詰メマスレバ、愛國心ノ濫用ト云フコトニナリハシナイカ、我國民ハ決シテ國家大事ノ際
ニ費用ヲ出スコトハ辭サナイ國民デアル、斯ルモノヲ尙ホ一回ノ議會ヲ剩シテ居ル今日ニ
當ッテ、衆議院トシテ之ヲ通過スルコトハ、國民ニ對シテ不信ヲ招クコトニ至リハシナイカ
願クバ平和克復後平時ニ復シタル今日ニ當ッテハ、出來得ル限リノ範圍ニ於テハ、憲
法政治ノ常道ヲ履ンデ往キタイ、斯様ニ私ハ思フデゴザイマス、深ク言フ必要ハゴザ
イマセヌカラ、島田君ニ贊成ノ意ヲ表シマスルト同時ニ、角田君、改野君ノ說ニ反對ノ
意ヲ表シマス

(討論終結々々々「ト呼フ者アリ」)

○委員長長谷場純孝君 討論終結ノ動議ニ贊成ノ方ガ……
○望月長夫君 チョット申シテ置キタイ、私ハ角田君ノ意見ニ贊成致シマス
○委員長長谷場純孝君 討論終結動議ガ起リマシタカラ、採決シヤウト思ヒマス
ガ……

○荒川五郎君 委員長

○委員長長谷場純孝君 荒川君ハ討論終結ノコトニ付イテ御發議デゴザイマスガ

○荒川五郎君 本案ニ付イテ少シク述べタイ

○委員長長谷場純孝君 今討論終結ノ動議ガ起リマシタカラ、先ニシマセウ、討論
終結ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○委員長長谷場純孝君 多數デゴザイマス、討論ハ終結致シマシタ、是カラ採決ヲ致
シマス、御說ガ二ツニ分レマシタ、第一ハ島田君ノ反對說、是ニハ淺野君ガ贊成サレタ、
第二ハ角田眞平君ノ修正說、是ニモ贊成者ガゴザイマシタ、第三ガ即チ改野君ノ原案
贊成、是ニモ贊成者ガゴザイマス、ソレデ說ガ二ツニ分レマシタカラ、起立デ採決シテモ
違ハナイト委員長長谷場純孝君カラ、起立デ採決シマス、原案ニ遠イ、即チ島田三郎君ノ
原案ニ絕對反對スルト云フ說ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長長谷場純孝君 少數デゴザイマス、次ニ角田君ノ修正說デゴザイマスガ、尙
茲ニ御決意ノ案ニ申上ゲテ置キマス、即チ現行ノ非常特別稅法ノ第一條ハ即
第一條 臨時事件ニ因リ生シタル經費ヲ支辨スル爲メ本法ニ依リ租稅ヲ増徴シ
若ハ賦課シ又ハ印紙ヲ増貼シ若ハ貼用セシム

斯ウアルノ政府案即チ原案デハ削除シヤウト云フノヲ、角田君ハツレハ削除シナイデ宜
イト云フ御說デゴザイマス、先ヅ是ハ箇條ニ付イテ採ルガ宜カラウト思ヒマス、第一條ト
第二十七條ニ就イテ——デロハ今申シマシタコトニ即チ角田君ノ說ニ御同意ノ諸君ニ起
立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長長谷場純孝君 少數デゴザイマス、ソレカラ第二十七條ハ現行法
律ガ

第二十七條 平和克復ニ至リタルトキハ其翌年末日限本法ヲ廢止ス

ト斯ウアルノヲ、角田君ノ今ノ修正說ハ「本法ハ明治四十年二月三十一日限廢止
ス」ト斯ウ修正シタイト云フ御意見デゴザイマス、之ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長長谷場純孝君 少數デゴザイマス、依テ原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○委員長長谷場純孝君 過半数デゴザイマス、此案ハ原案ニ決シマス、是ニ於テ御
諮リヲ致シマスガ、即チ此案ハ議會ヲ省略シテ、確定シタモノト看做シテ差支ゴザイマス
マイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ此非常特別稅法中改正法律案ハ確定致シマス、又モウ一ツ御諮リ致シマスノハ前ニ決セラレマシタ國債整理基金特別會計法案、是ハ荒川君ノ御説モゴザイマシタガ、二讀會、三讀會ヲ開キマスガ、若クハ此儘ニテ前決議ノ通り原案賛成ト云フコトニ確定シテ差支アリマセヌカ

(「讀會省略確定」ト呼フ者アリ)

○多田作兵衛君 文字ノ修正ハ御任セヲスル、所デ確定……

(「文字ノ修正ハナイ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 文字ノ修正ハナイト委員長ハ認メマスガ、若シ文字ノ修正ガ萬一アルトシタナラバ、御任セデ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ國債整理基金特別會計法案モ讀會ヲ省略シテ、確定シマス、是ニ於テ國債整理基金特別會計法案外一案ノ特別委員會ハ終了致シマシタ、是デ閉會シマス

午後四時三十三分閉會